

CC5000 CUSTOMER CONCIERGE

製品リファレンス ガイド



CC5000 CUSTOMER CONCIERGE

製品リファレンス ガイド

MN000209A03JA

改訂版 A

2015 年 8 月

Zebra の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約（ライセンス プログラム）に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Zebra の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークでを使用することを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebra の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Zebra Technologies Corporation の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてののみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01	2014 年 3 月	初期リリース
-02	2015 年 6 月	Zebra への商標変更。Fusion、DataWedge およびエンタープライズ リセット機能に関する参照情報を含めるため R1.2 を更新。
-03	2015 年 8 月	10 インチ ユニットの アップデート

目次

改訂版履歴	iii
-------------	-----

このガイドについて

概要	vii
構成	vii
アクセサリ	vii
15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチ	vii
10 インチ	vii
章の説明	viii
表記規則	viii
サービスに関する情報	ix

第 1 章: CC5000 Customer Concierge の紹介

概要	1-1
メモリ	1-1
ソフトウェア	1-1
SDK (CC5000 での開発)	1-1
CC5000 Customer Concierge の機能	1-2
15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチモデル	1-2
10 インチ モデル	1-4
機能およびポートの説明	1-5

第 2 章: CC5000 Customer Concierge の使用

概要	2-1
CC5000 のナビゲート	2-1
ホーム画面	2-2
画面キーボード	2-3
ブラウザ	2-3
Admin モード	2-4
設定	2-7
ユーザーとユーザー セッション	2-8
有線 Ethernet 設定	2-9

Bluetooth	2-11
ストレージ	2-12
ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバー	2-14
言語設定	2-15
ゲスト モード	2-15
Admin モード	2-16
ファイル ブラウザ	2-17
システム更新	2-18
エンタープライズリセット	2-20
データの読み取り	2-22
無線構成	2-23
Wi-Fi ネットワークへの接続	2-23
Wi-Fi ネットワークのスキャンニング	2-24
Wi-Fi ネットワークの追加	2-25

付録 A: メンテナンスとトラブルシューティング

概要	A-1
クリーニングとメンテナンス	A-1
トラブルシューティング	A-2

索引

このガイドについて

概要

このガイドでは、CC5000 Customer Concierge 製品について説明します。この製品を使用すると、お客様のセルフサービス ニーズに対応できる電子カスタマー コンシェルジュを作成できます。

構成

CC5000 では、10 インチ、15.6 インチ、21.5 インチ、および 27 インチの 4 種類のディスプレイ構成を用意しています。

さらに、2 つのメモリ構成があります: 1 GB RAM / 16 GB の内部ストレージ、1 GB RAM / 64 GB の内部ストレージ。

このガイドは CC5000 のすべての構成に適用されます。構成の仕様については、オンラインで掲示されている CC5000 データシートを参照してください。www.zebra.com/support から入手可能です。

アクセサリ

15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチ

CC5000 に電源を供給するには、各国対応の AC 電源コードが必要です。コードの一方の端では IEC320 C13 コネクタ (3Pメス) を使用する必要があり、もう一方の端は、地域別の適切なオス電源プラグです。

10 インチ

CC5000 を電源に接続するには、各国対応の AC 電源コードと、AC アダプタ (PWRS-14000-148R)、および 取り付けキット (KT-152096-02) が必要です。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章、CC5000 Customer Concierge の紹介**では、Concierge デバイスの概要を示し、機能とポートについて説明します。
- **第 2 章、CC5000 Customer Concierge の使用**では、Concierge プラットフォームで利用できるさまざまなソフトウェア機能、データ キャプチャ オプション、およびワイヤレス LAN に接続するために CC5000 を構成する方法について説明します。
- **付録 A、メンテナンスとトラブルシューティング**では、メンテナンス、および CC5000 に関連するトラブルシューティング情報を掲載しています。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- CC5000 は、Concierge (コンシェルジュ) とも呼ばれます。
- Courier New フォントはコード セグメントに使用します。
- 斜体は次の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - ダイアログ ボックス名、ウィンドウ名、スクリーン画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - 画面のフィールド名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - ファイル名
 - ディレクトリ名
- **太字** は、次のものを強調するために使用します。
 - パラメータ、オプション名
 - スクリーン上のアイコン
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

- メモ、注意および警告は次のように表示されます。



注 このシンボルは、特別な関心事や重要事項を示します。注意を読まなくても、スキャナ、機器、またはデータに物理的な損害が生じるわけではありません。



注意 このシンボルが付いた情報を無視した場合、データまたは器具に損害が生じる場合があります。



警告! このシンボルが付いた情報を無視した場合、身体に深刻な傷害が生じる場合があります。

サービスに関する情報

お使いの機器に問題が発生した場合は、地域担当の Zebra サポートにお問い合わせください。問い合わせ先情報については、以下の Web サイトをご覧ください。<http://www.zebra.com/support>

Zebra サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra では、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Zebra サポートが問題を解決できない場合、修理のため装置をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な形で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合のサポートについては、購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第 1 章 CC5000 Customer Concierge の紹介

概要

Concierge は、カスタマーを小売店のデジタル サービスに接続するアプリケーションの開発を可能にするために構築された、エンドツーエンドのアプリケーション プラットフォームです。世界最大のモバイル プラットフォームである Android のすべてのパワーによってサポートされた Concierge アプリケーションは、消費者が必要とするユーザー インタフェースと同じ直感的なユーザー インタフェースを提供します。

CC5000 キオスクには、エンド ユーザーであるカスタマーが情報を調べたり、購入を行ったり、特価商品の案内を受けたり、カスタマー サービスを受けるために音声またはビデオですぐにサポートに接続したりすることができるように構成できるリッチなインタラクティブ プラットフォームです。



注 このセクションで示されているスクリーン ショットはサンプルであるため、ホーム画面やその他のアイコンは、システム管理者が有効にしているアプリケーションによって異なる場合があります。

メモリ

CC5000 の標準システム構成には、システム ファームウェア、ユーザー アプリケーション、およびデータの格納用に 1 GB RAM / 16 GB の内部ストレージおよび 1 GB RAM / 64 GB の内部ストレージが含まれます。

ソフトウェア

標準でサポートされているオペレーティング システム、および開発ツールにより、Android 4.1 Jelly Bean OS ベースの CC5000 の簡単なアプリケーション開発が可能です。

SDK (CC5000 での開発)

CC5000 SDK を使用して、開発者は、カスタムの Android アプリケーションを作成できます。ネイティブ アプリケーションの他に、エンタープライスグレードの Concierge ブラウザは Web アプリケーションを実行できます。SDK のマニュアル、サンプル コード、その他の開発者向けのマニュアルなど、CC5000 プラットフォーム向けのアプリケーションの開発方法については、次をご覧ください:

<https://developer.zebra.com/community/technologies/concierge>

CC5000 Customer Concierge の機能

✓ 注 CC5000 デバイスのイラストは、例として記載されているだけです。実際のデバイスは、デバイスのイラストとは異なる場合があります。

すべての機能の説明については、[1-5 ページの表 1-1](#) を参照してください。

15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチモデル

タッチスクリーン ディスプレイ

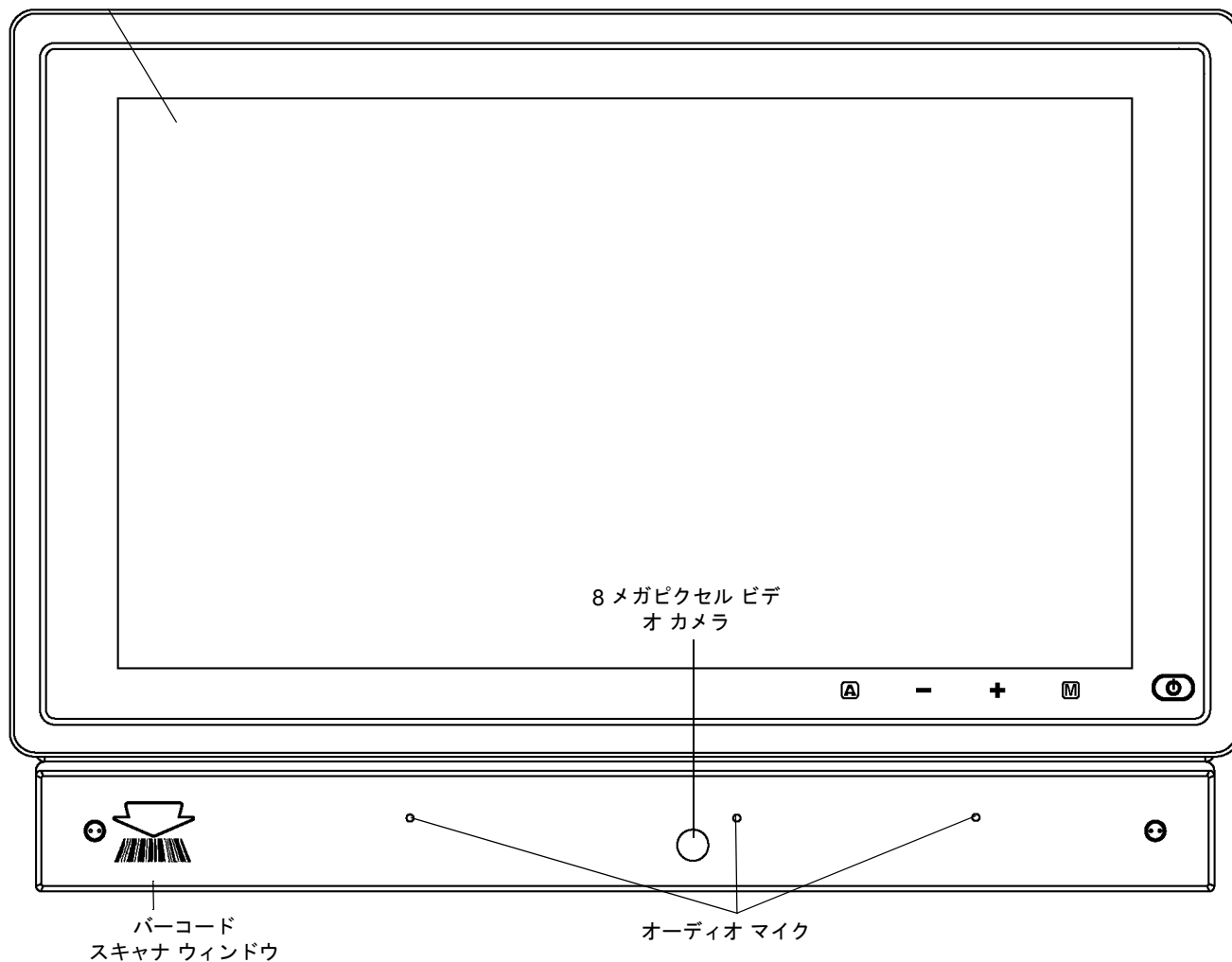


図 1-1 正面図

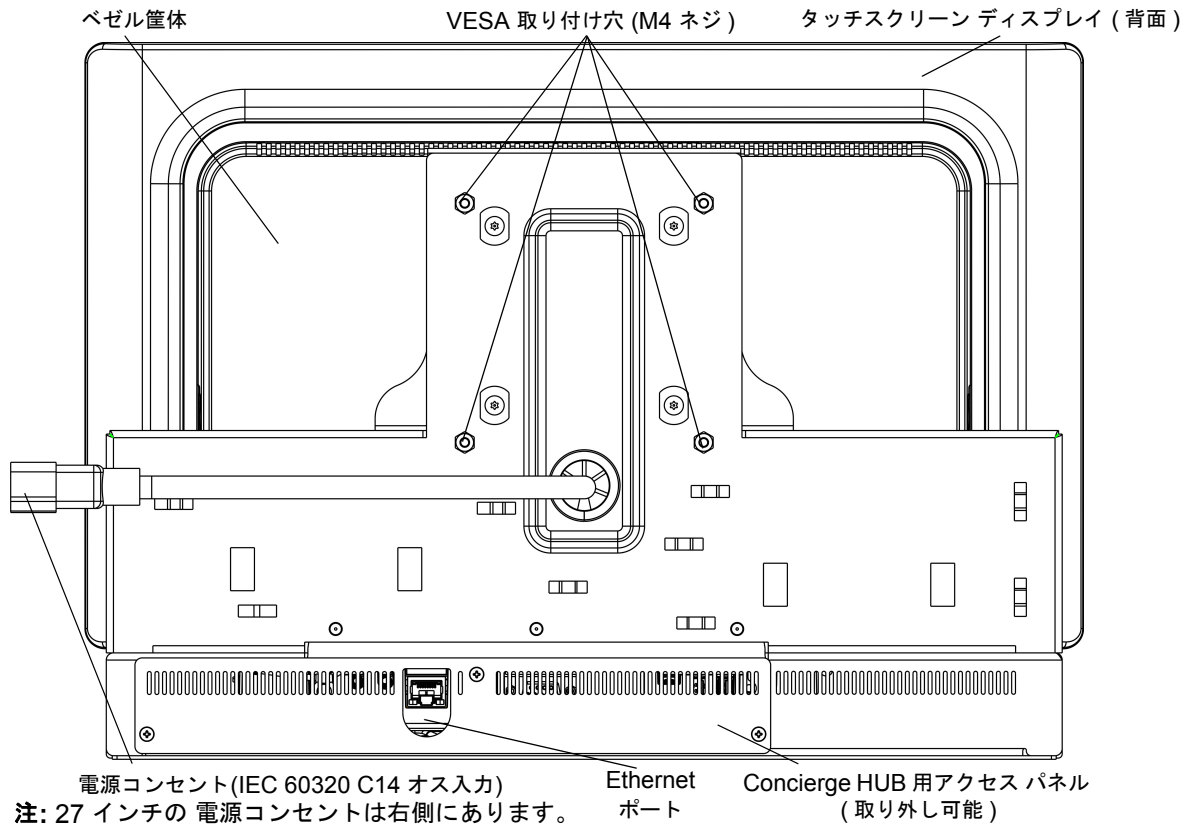


図 1-2 背面図 - HUB へのアクセス パネル (取り付け時)

- ✓ 注 1. CC5000 は、Android 4.1 Jelly Bean OS ベースの Concierge プラットフォーム ソフトウェアを実行する CCHUB を含み、以下に示す拡張スロットを備えています。
2. 下の図にある一部のポートは、ユーザーが操作するためのものではありません。

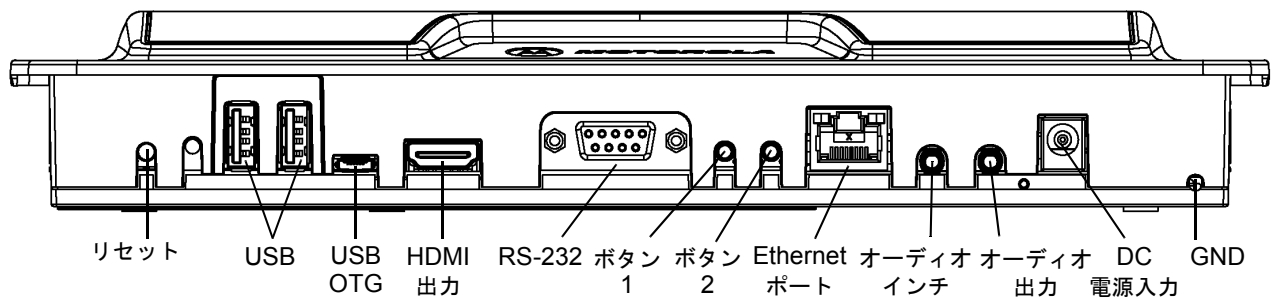


図 1-3 CCHUB 背面図 - アクセス パネル /HUB 背面

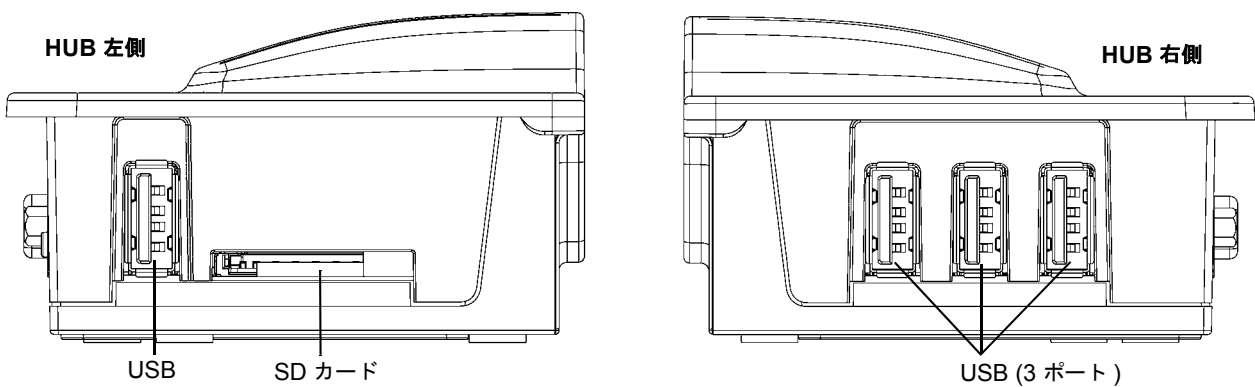


図1-4 CCHUB 側面図

10 インチ モデル

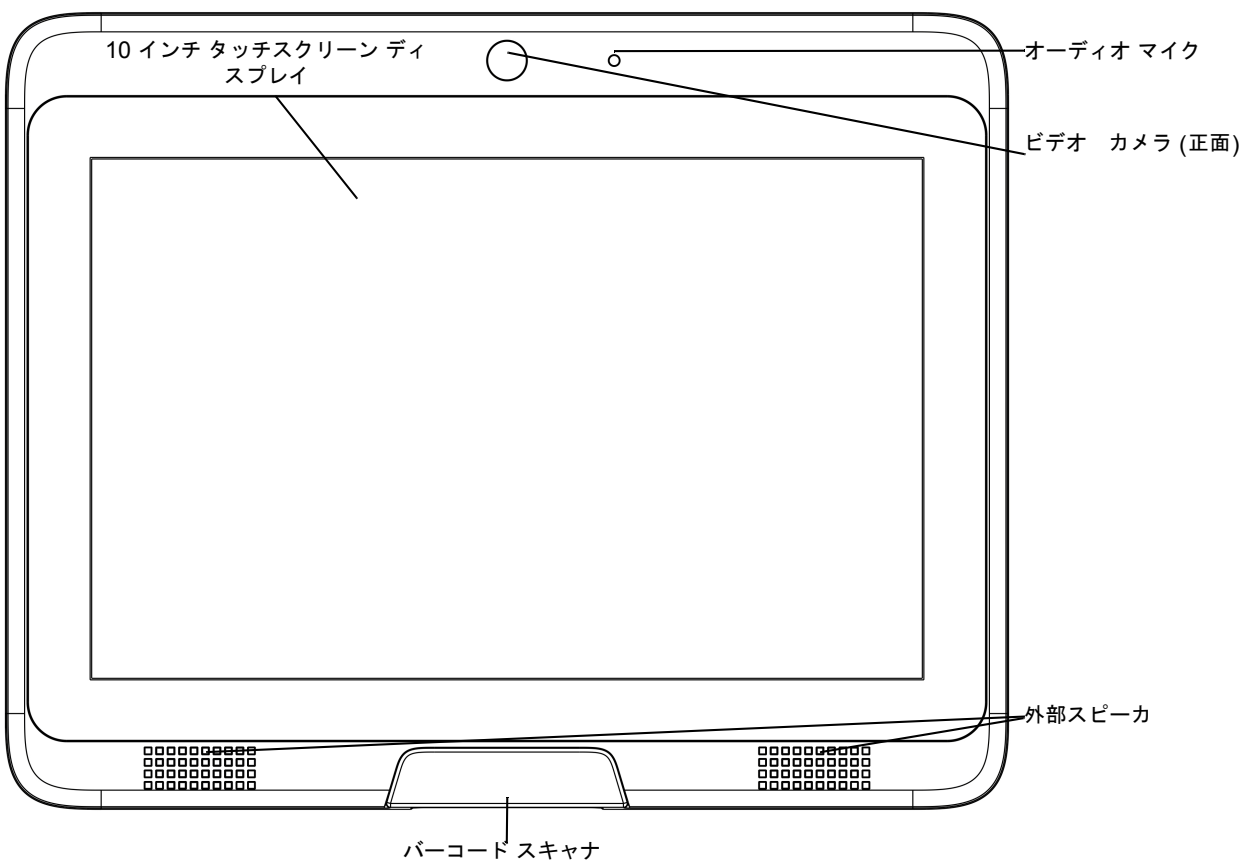


図1-5 正面図

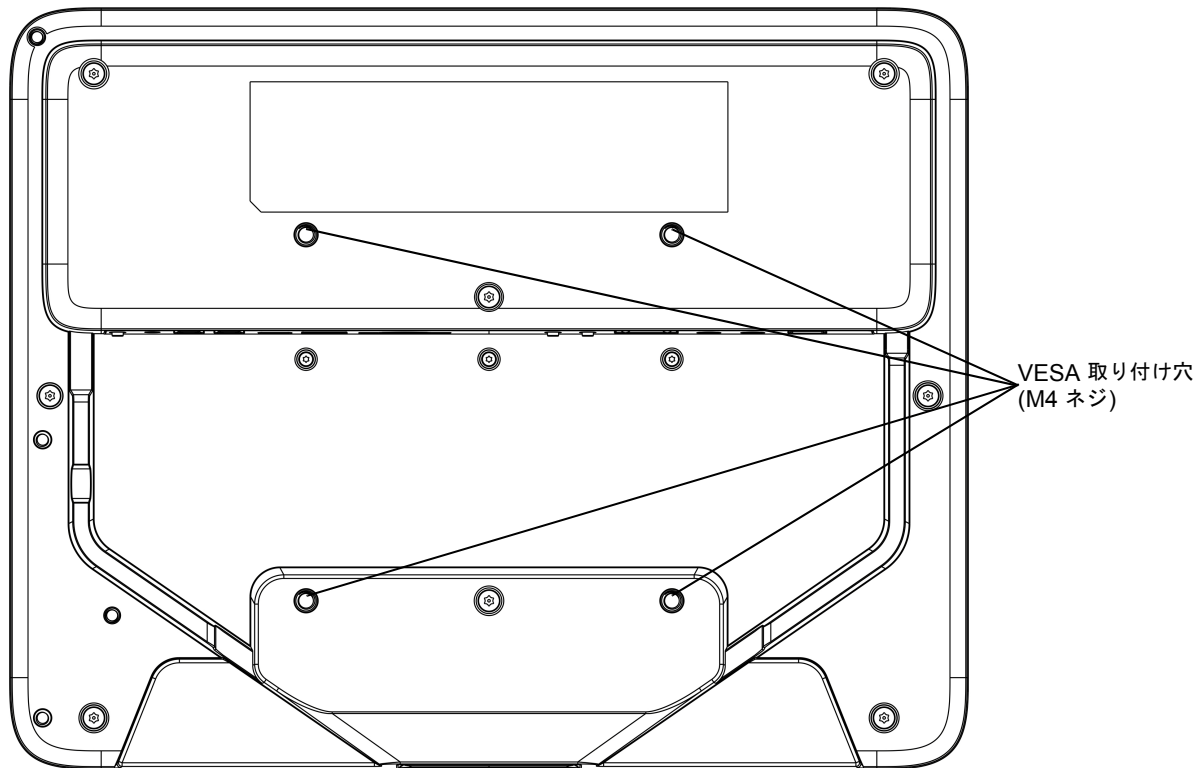


図 1-6 背面図

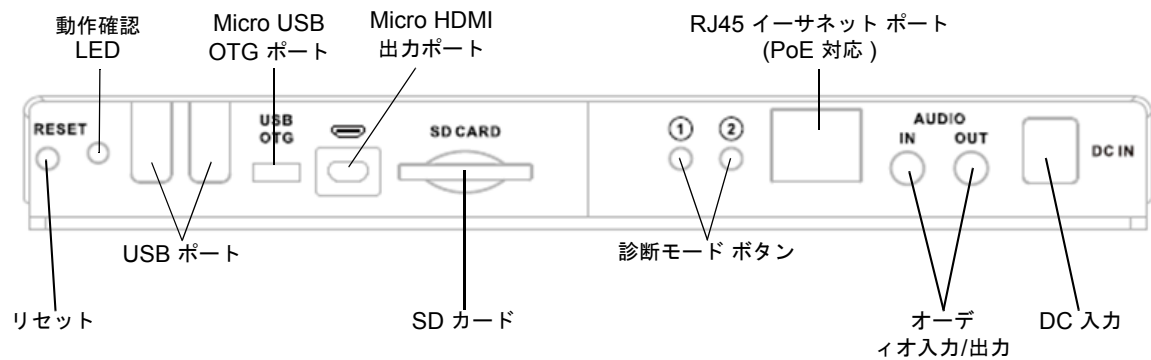


図 1-7 ポート

機能およびポートの説明

表 1-1 CC5000 の機能

機能	説明
動作確認 LED	<p>システムの状態を表示します。この LED は、エンドユーザーからは見ることができず、診断モードで使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆっくり点滅 = 高速起動モード すばやい点滅 = 復旧モード、またはデバイスの起動中

表 1-1 CC5000 の機能(続き)

機能	説明
オーディオ マイク	<ul style="list-style-type: none"> 15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチの CC5000s: <ul style="list-style-type: none"> 正面の 3 個のマイクは音声などの用途向けです。 10 インチの CC5000: <ul style="list-style-type: none"> ユニット背面のオーディオ入力マイク 1 個、オーディオ出力マイク 1 個は音声などの用途向けです。
バー コード スキャナ ウィンドウ	CC5000 バー コード イメージャは、1D バー コードおよび 2D シンボル体系を、スキャナ ウィンドウに提示されたときに読み取ります。
ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ボタン 1: ユーザーによるプログラムはできません。 ボタン 2: ユーザーによるプログラムはできません。
Ethernet ポート	<p>CC5000 は、有線の Ethernet 接続用に有線ポートを備えています。</p> <p>注: 10 インチの CC5000 は PoE (802.3at) をサポートします。15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチの CC5000 は Power-over-Ethernet (PoE) をサポートしません。</p>
外部ポート	<p>デバイスの背面にある CC5000 外部ポート (HUB) には、背面のアクセス パネルを取り外すとアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチの CC5000s: <ul style="list-style-type: none"> USB ポート - これらのユニットは、合計 7 個の USB ポートを備えています。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスの背面にあるミニ USB 2.0 ホスト/クライアント ポート (USB On-The-Go [OTG])。 周辺機器への接続用の USB 2.0 ホスト ポート 6 個。6 個の USB 2.0 ポートのうち、2 個が、タッチスクリーン ディスプレイと内蔵スキャナからの入力を受信するために使用され、4 個のホスト ポートがその他の使用のために残っています。 HDMI: ビデオの既定の出力。 RS-232 シリアル ポート: DB9 標準コネクタの RS-232 シリアル ポート。 SD カード: 256GB までの SD カードをサポート。 オーディオ入力: 外部マイク用の外部 3.5mm ポート。 オーディオ出力: ステレオ アナログ オーディオ出力用の外部 3.5mm ポート。 10 インチの CC5000: <ul style="list-style-type: none"> USB ポート: 10 インチの CC5000 は、合計 3 個の USB ポートを備えています。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスの背面にあるマイクロ USB 2.0 ホスト/クライアント ポート (USB On-The-Go [OTG])。 周辺機器への接続用の USB 2.0 ホスト ポート 2 個。 マイクロ HDMI: ビデオの既定の出力。 SD カード: 256GB までの SD カードをサポート。 オーディオ入力: 外部マイク用の外部 3.5mm ポート。 オーディオ出力: ステレオ アナログ オーディオ出力用の外部 3.5mm ポート。

表 1-1 CC5000 の機能(続き)

機能	説明
電源コンセント (10 インチの デバイスでは利用できません。)	CC5000 は、IEC 60320 C14 オス入力を備えています。 注: 電源コンセントに接続するには、各国対応の AC 電源コードが必要です。
スピーカ	CC5000 は、マルチメディア アプリケーションに使用できる内蔵スピーカを搭載しています。
タッチ スクリーン ディスプレイ	タッチ スクリーンでは、タブレット ユーザーが使い慣れた機能や、最適なユーザー エクスペリエンスを提供するように設計された機能を使用できます。また、ピンチやズーム、縦方向および横方向のスクロール、スワイプ ジェスチャなどの機能がサポートされています。 CC5000 タッチスクリーン ディスプレイは、音量、輝度、コントラスト、入力などについて、標準の工場出荷時構成で出荷されます。
VESA 取り付け穴(M4 ネジ)	CC5000 は、100mm X 100mm VESA Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface (FPMPMI™) マウント規格に準拠している市販のブラケットを使用して柱、棚、または壁に取り付けることができます。 CC5000 の取り付けについては、『 Concierge CC5000-XX Set Up and Installation Guides 』(10 インチ - MN001103Axx、15 インチ - MN000212Axx、22 インチ - p/n MN000144Axx、27 インチ CC5000の取り付け手順については、- MN000511Axx) を参照してください。
ビデオ カメラ	CC5000 は、1080p の高精細ビデオに対応する 8 メガピクセル カメラを搭載しています。 ビデオ カメラは、リアル タイムのビデオ コラボレーションやその他のビデオ利用例に使用できます。

第 2 章 CC5000 Customer Concierge の使用

概要





この章では、CC5000 およびその機能を使用する方法について説明します。

CC5000 デバイスの構成の詳細については、『**Concierge CC5000-XX Set Up and Installation Guide**』(10 インチ - MN001103Axx、15 インチ - MN000212Axx、22 インチ - p/n MN000144Axx、27 インチ - MN000511Axx) を参照してください。

CC5000 のナビゲート

モード (ゲスト、Admin、社員) に関係なく、すべての CC5000 画面にナビゲーション アイコンが表示されます。これらのアイコンは、他の画面に一貫した方法でアクセスするために使用されます。

標準のナビゲーション アイコン:

-  戻る: どの画面でも、[戻る] アイコンをタッチすると 1 画面戻ります。
-  ホーム: どの画面でも、ホームアイコンをタッチするとホーム画面に戻ります。
-  セッション終了: どの画面でも、[セッション終了] アイコンをタッチすると、現在のセッションが終了し、既定の設定が復元されます。既定の設定はシステム管理者が決定します。セッション固有のすべてのデータは消去されます。
-  音量: どの画面でも、[音量] アイコンをタッチすると、その特定のセッションの音量レベルを制御できます。

ホーム画面

ホーム画面は、CC5000 をオンにすると表示されます。

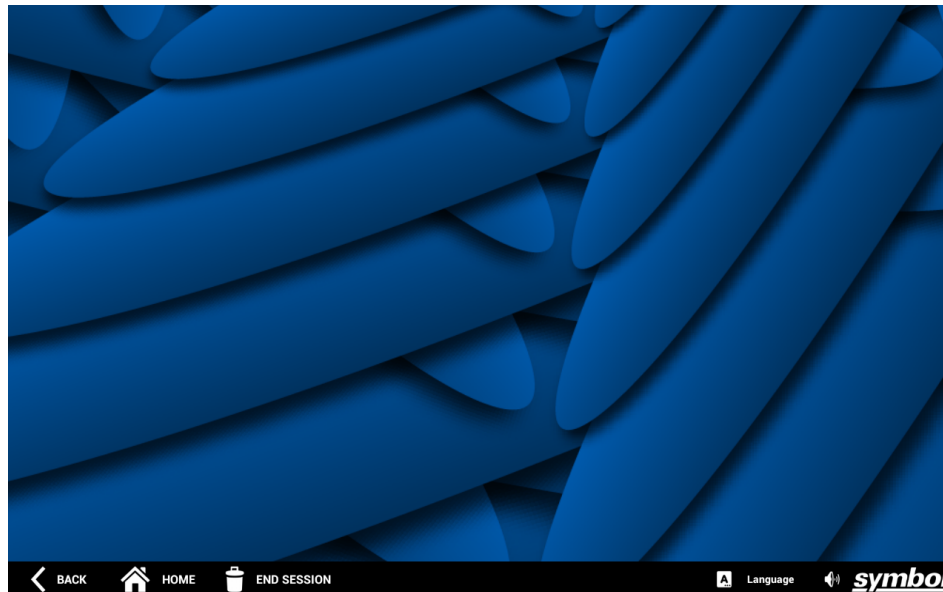


図 2-1 ホーム画面

✓ **注** 既定では、CC5000 ユニットには顧客が利用するアプリケーションは含まれません。電源を入ると、空白の画面にナビゲーション バーが表示されます。

CC5000 では、ホームまたは**起動プログラム** アプリケーションとして作成された任意の Android アプリケーションをホーム画面として設定できます。Launchpad については<https://developer.zebra.com/community/technologies/concierge> をご覧ください。CC5000 用のサンプル アプリケーションのダウンロードや、新規アプリケーションの作成に関する詳細も記載されています。

画面キーボード

画面キーボードは、ユーザーが、テキストの入力が必要なテキスト フィールドをタッチしたときに自動的に表示されます。

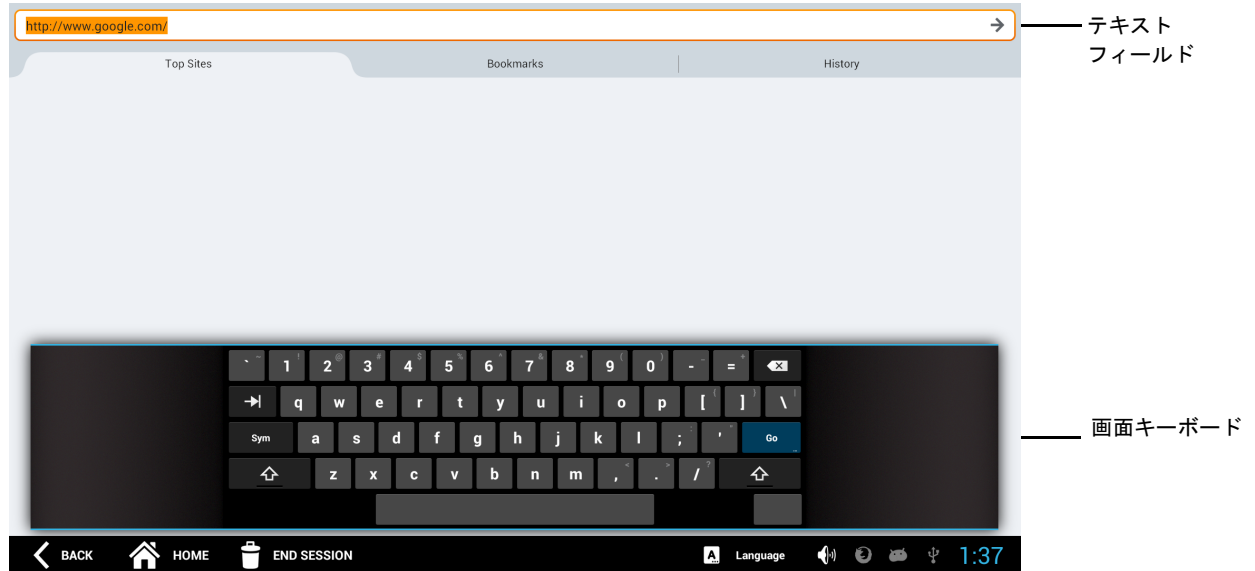


図 2-2 画面キーボード

ブラウザ

インターネットおよびイントラネットにアクセスするには、CC5000 エンタープライズ ブラウザを使用します。システム管理者が、アクセスできるサイトを制限するように選んでいる場合があります。

Admin モード

Admin モードは、追加のアプリケーションや、**ゲスト** モードでは利用できない機能を含みます。ユーザーが **Admin** モードを利用できるようにするかどうかは管理者が制御します。

Admin モードに入るには、次の手順に従います。

1. ゲスト モードのホーム画面で、**symbol** アイコンにタッチして 5 ~ 7 秒間その状態を維持します。これで、**Admin** パスコードキーパッドがアクティブになり、表示されます。

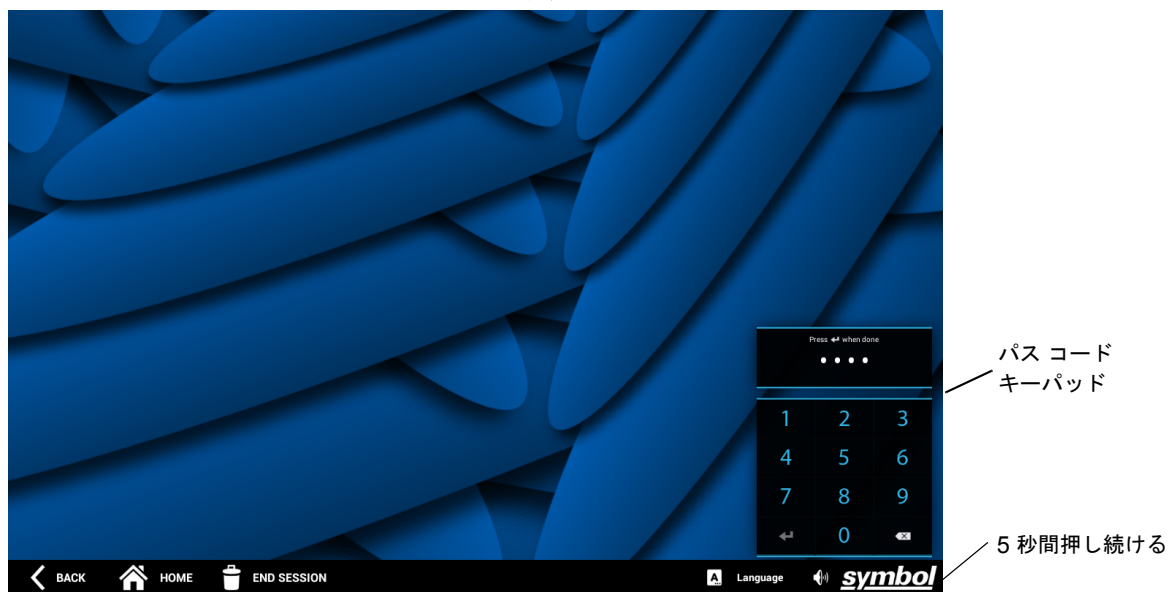



図 2-3 ホーム画面 - パスコードキーパッド

2. キーパッドにパスコードを入力し、 を押して **Admin** モードに入ります。正しいパスコードが入力されると、**Admin ホーム画面**が表示されます。



図 2-4 Admin ホーム画面

- ✓ **注** Admin モードの既定のパスコードは 5678 です。お使いのシステムに対して適切なパスコードについては、システム管理者に相談してください。

3. Admin モードで利用できるすべてのアプリケーションを表示するには、Admin ホーム画面の右上にある を押します。

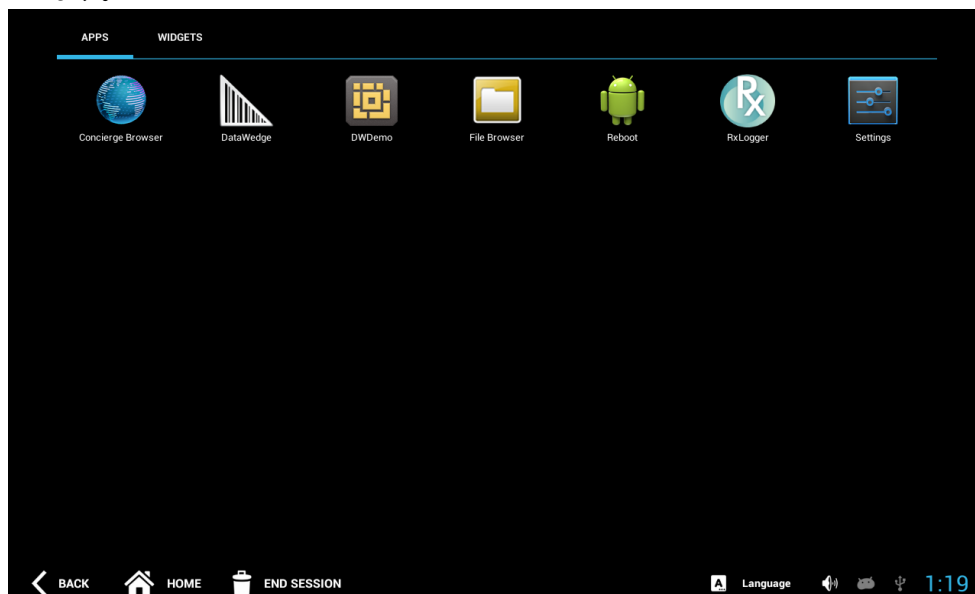



図 2-5 Admin アプリケーション画面

4. 設定や接続 (Ethernet、Wi-Fi、アプリケーション設定など) を構成するには、**[設定]** アイコン () を押して **[設定]** メニューを表示します(画面の右下を押して **[設定]** メニューを表示することもできます)。

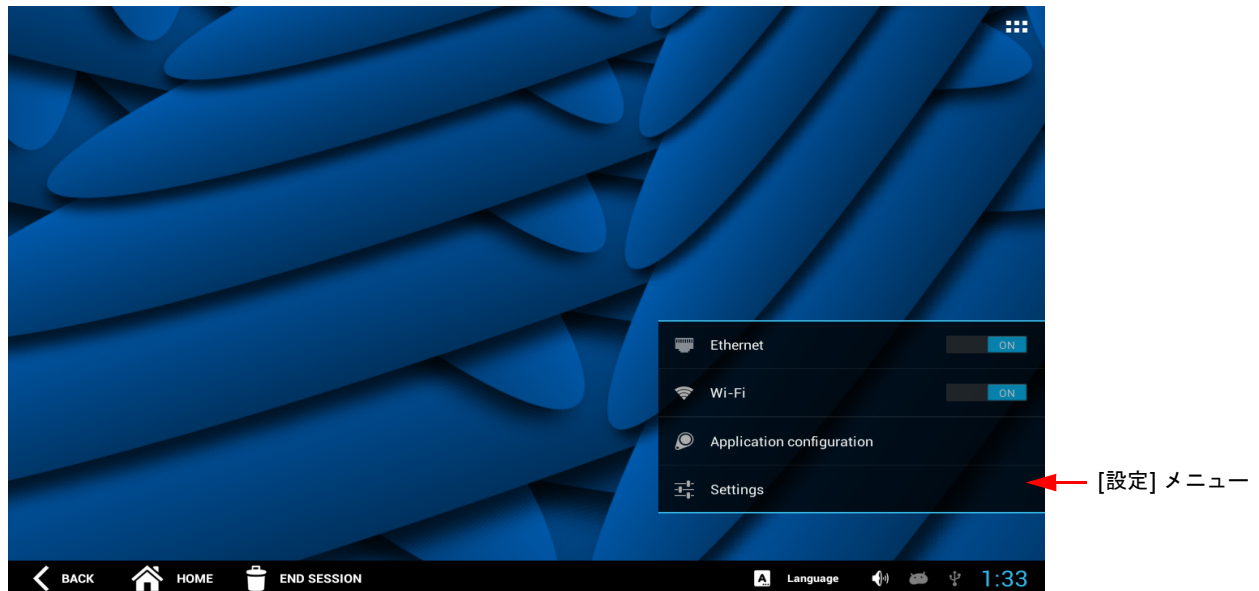



図 2-6 Admin [設定] メニュー

- ✓ **注** 一部の設定は、システム管理者がモバイル デバイス管理 (MDM) 機能を使用して構成することもできます。これらの設定の正しい値については、システム管理者に確認してください。

5. **Admin** モードを終了し、**ゲスト** モード (既定値) に戻るには、どの画面にもある  を押してセッションを終了します。

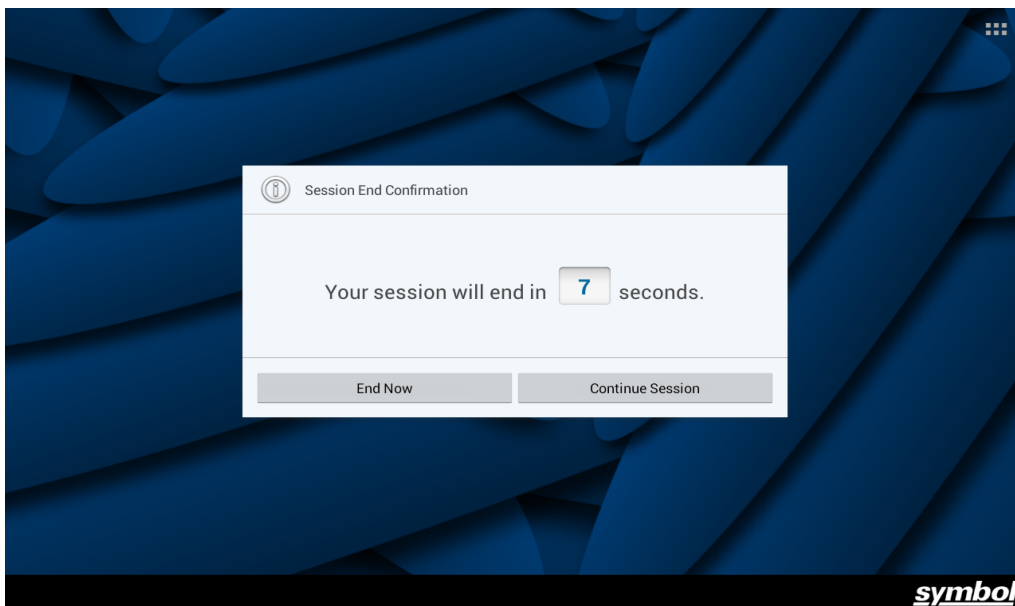




図 2-7 セッション終了ウィンドウ

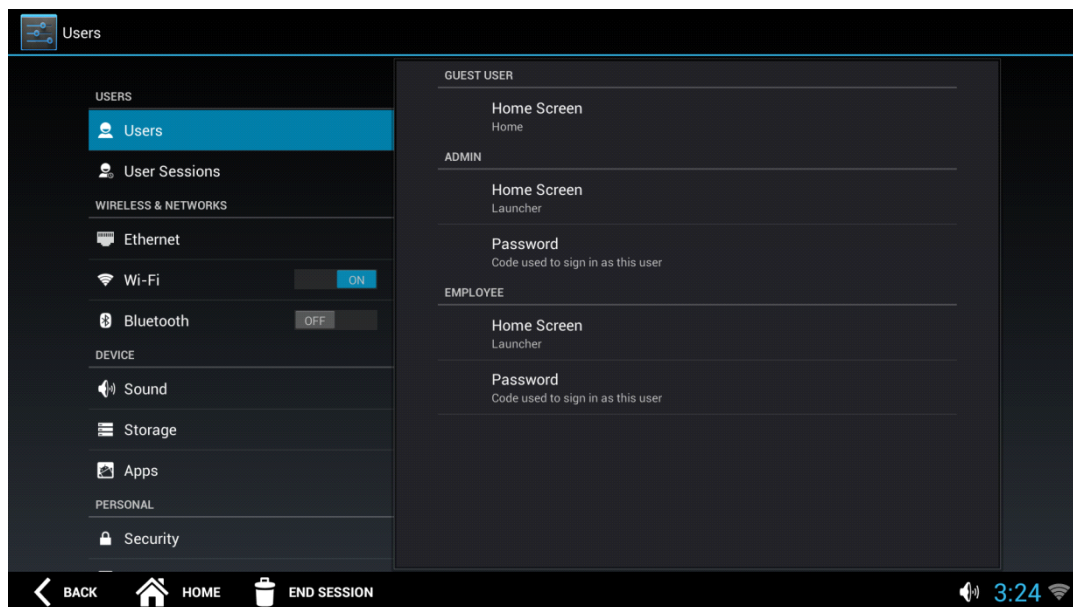
6. **[セッション終了の確認]** ウィンドウが表示されたら、適切なオプション (**[今すぐ終了]** か **[セッションの継続]**) を選択して、今すぐ終了するか、セッションを継続します。

設定

[設定] アプリケーションは、特定の CC5000 の設定を構成するために使用します。設定には、たとえば、**ネットワーク** 設定、**ユーザーのタイプ**、**日付と時刻**、**言語**などがあります。[設定] アプリケーションを使用して構成された値はローカルの CC5000 に固有になります。

[設定] アプリケーションを開くには

1. **2-4 ページの「Admin モード」**の手順に従って、**Admin モード**に入ります。
2. [設定] アイコンが表示されない場合は、**Admin ホーム**画面の右上にある  を押して、利用できるすべてのアプリケーションを表示します。
3. [設定] アイコン () を押して、[設定] アプリケーション画面を開きます。この画面には、デバイス上で構成できる機能が一覧表示されます。



追加の機能まで下へスクロール

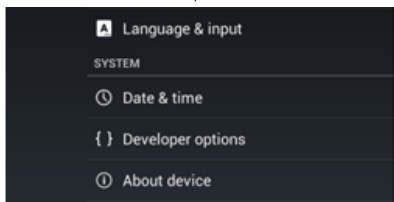


図 2-8 [設定] アプリケーション画面

4. 設定への更新が完了したら、[セッション終了] を押して **Admin モード**を終了します。
5. プロンプトが表示されたら、画面を終了することを確認します。

ユーザーとユーザー セッション

CC5000 は、以下の 3 つのタイプのユーザーをサポートしています。

- ゲスト
- Admin
- 社員

それぞれのタイプのユーザーのホーム画面は、異なるアプリケーションを表示するようにカスタマイズできます。

ユーザーのタイプの画面をカスタマイズするには、次の手順に従います。

1. [2-7 ページの「設定」](#)のステップ **1** ~ **3** に従います。
2. [ユーザー] ([図 2-8](#) を参照) を選択し、画面の右側の [ゲスト ユーザー] の下にある [ホーム画面] を選択します。

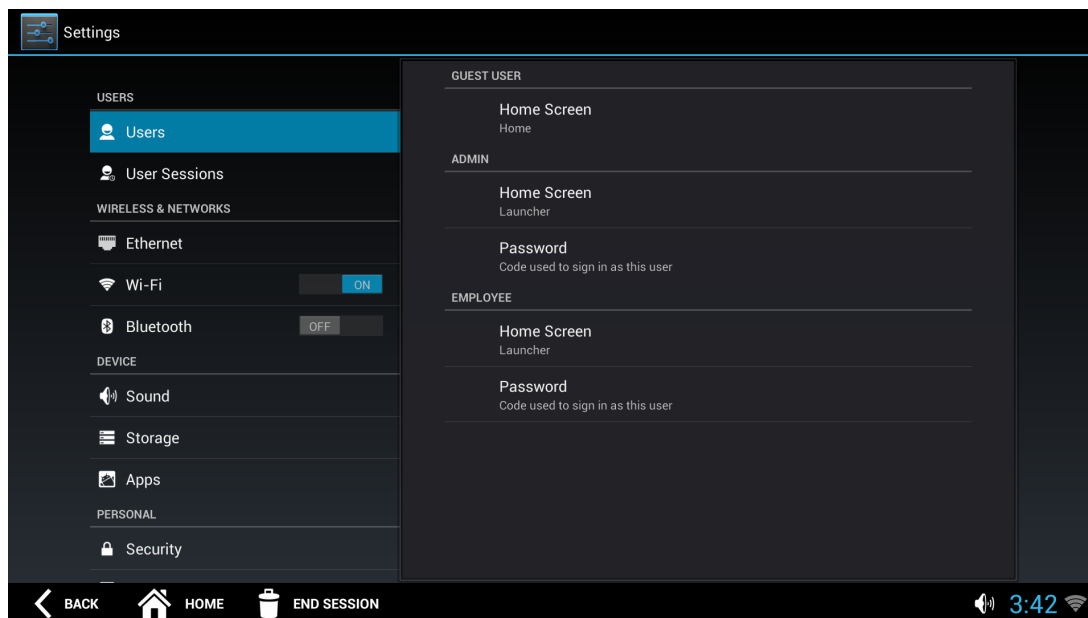


図 2-9 設定 - ゲスト用のホーム画面

3. [ホーム画面の選択: ゲスト] ウィンドウが表示されます。

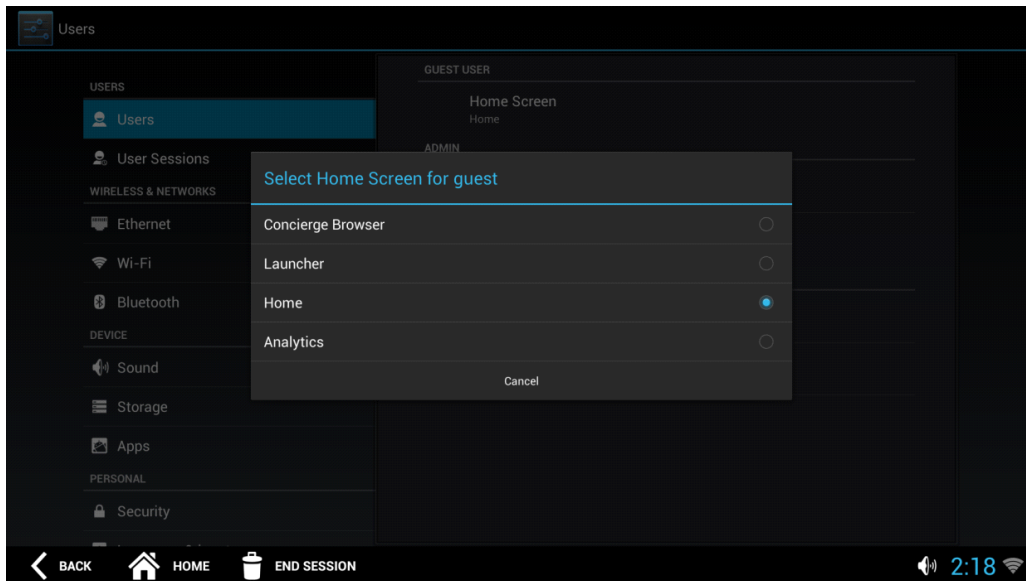


図 2-10 ゲスト用のホーム画面

4. 3 つのタイプそれぞれのユーザーのホーム画面オプションを選択して、適切なオプションを構成します。それぞれのタイプのユーザーについて選択対象となるオプションのリストは、インストールされているアプリケーション、およびシステム管理者が有効にしているアプリケーションによって異なります。
たとえば、**ブラウザ**を**ゲスト**モードの既定のアプリケーションにするには、[図 2-10](#)にあるウィンドウの [**Concierge Browser**] (Concierge ブラウザ) を選択します。
5. ステップ 2 ~ 4 を繰り返して、**Admin** および**社員**ユーザー用の異なるホーム画面を構成します。
6. 更新が完了したら、[セッション終了] を押して **Admin** モードを終了します。
7. プロンプトが表示されたら、画面を終了することを確認します。

有線 Ethernet 設定

CC5000 は、RJ45 (Ethernet) ポートに接続する Ethernet ケーブルを通じてホストと通信できます ([1-3 ページの図 1-2](#) を参照)。

✓ **注** 10 インチの CC5000 は PoE (802.3at) をサポートします。15.6 インチ、21.5 インチ、27 インチの CC5000 は Power-over-Ethernet (PoE) をサポートしません。

Ethernet 設定を構成するには、次の手順に従います。

1. [Ethernet] を選択します。
2. [2-7 ページの「設定」](#)のステップ 1 ~ 3 に従います。

3. **[Ethernet]** を選択し (図 2-8 を参照)、**[Ethernet 設定]** を選択して、IP およびプロキシ設定を構成します。

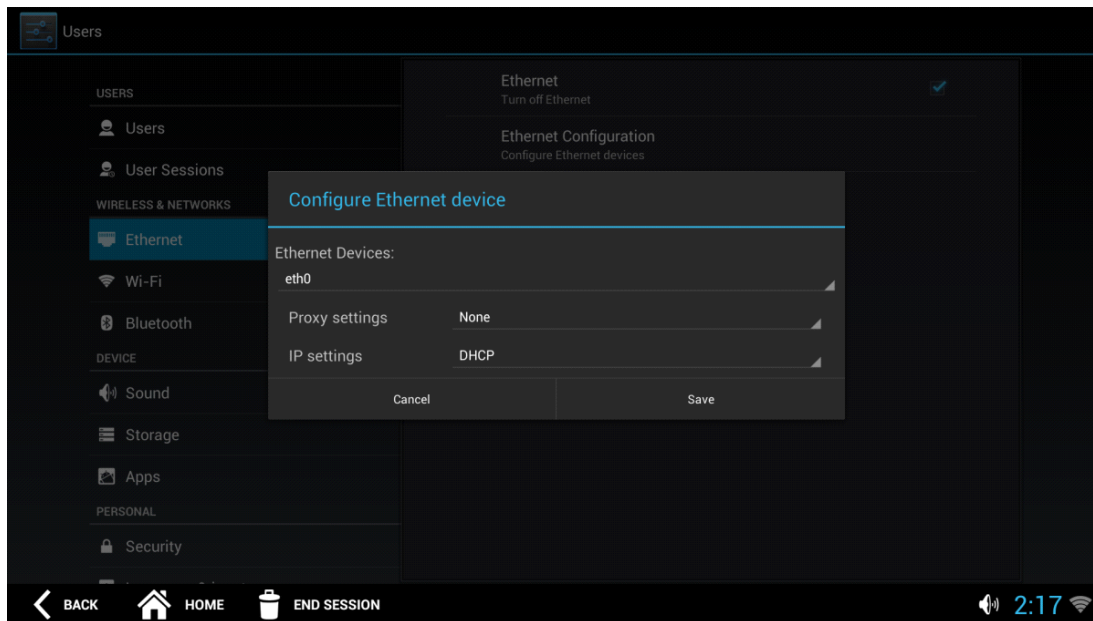


図 2-11 **[Ethernet デバイスの設定]** ウィンドウ

4. すべての Ethernet デバイス情報が入力されたら、**[保存]** を押します。
5. **[セッション終了]** を押して **Admin** モードを終了します。
6. プロンプトが表示されたら、画面を終了することを確認します。

Bluetooth

エリア内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。

Bluetooth 無線の電源をオンにするには、次の手順に従います。

1. **2-7 ページの「設定」**のステップ **1 ~ 3** に従います。
2. **Bluetooth** スイッチを **[ON]** (オン) にスライドします。

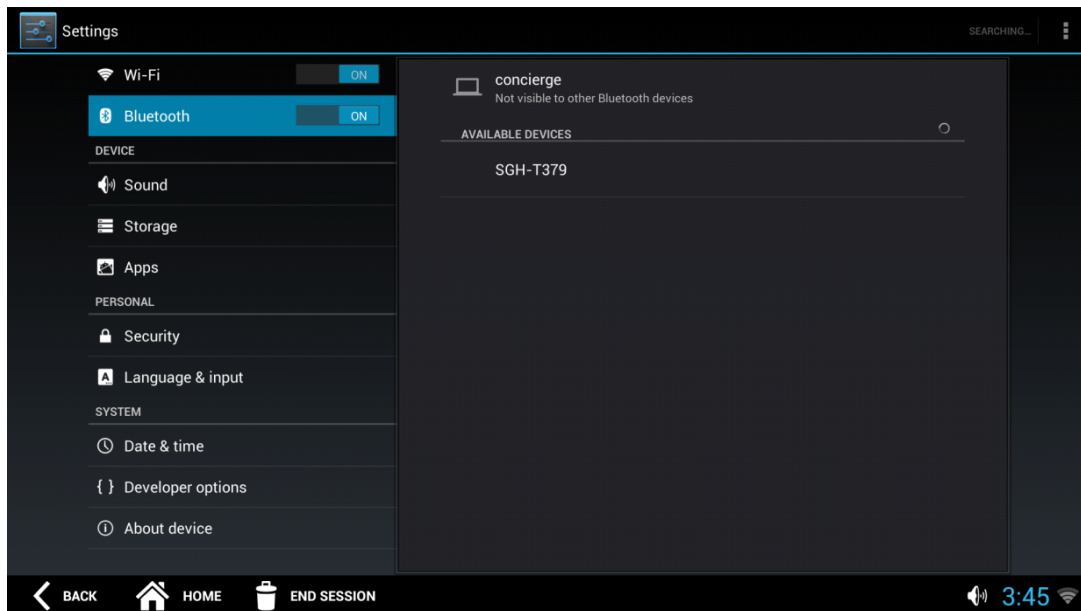


図 2-12 Bluetooth スイッチ

3. CC5000 を他のデバイスから見えるようにするには、画面の右側の **[conciierge]** (コンシェルジュ) をクリックします。
4. **[セッション終了]** を押して **Admin** モードを終了します。

ストレージ

デバイスのストレージ容量の確認、外部 SD カードまたは USB ドライブの取り付け、および CC5000 をホスト PC に接続してファイルを転送するオプションの設定を行うには、**[Storage]** (ストレージ) オプションを選択します。



図 2-13 デバイスのストレージ容量

外部 SD カードまたは USB ドライブを自動で取り付けるには、次の手順に従います。

1. **[Storage]** (ストレージ) をクリックして、メニューから **[Storage mounting]** (ストレージの取り付け) を選択します。

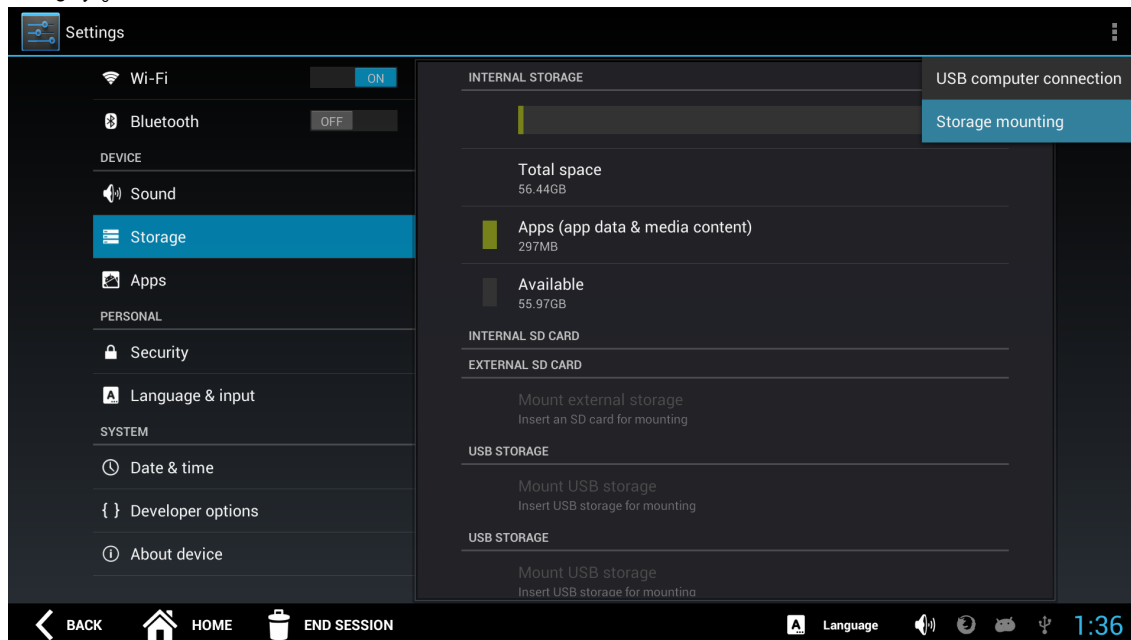


図 2-14 ストレージの取り付け

2. 自動取り付けの適切なオプションを確認します。

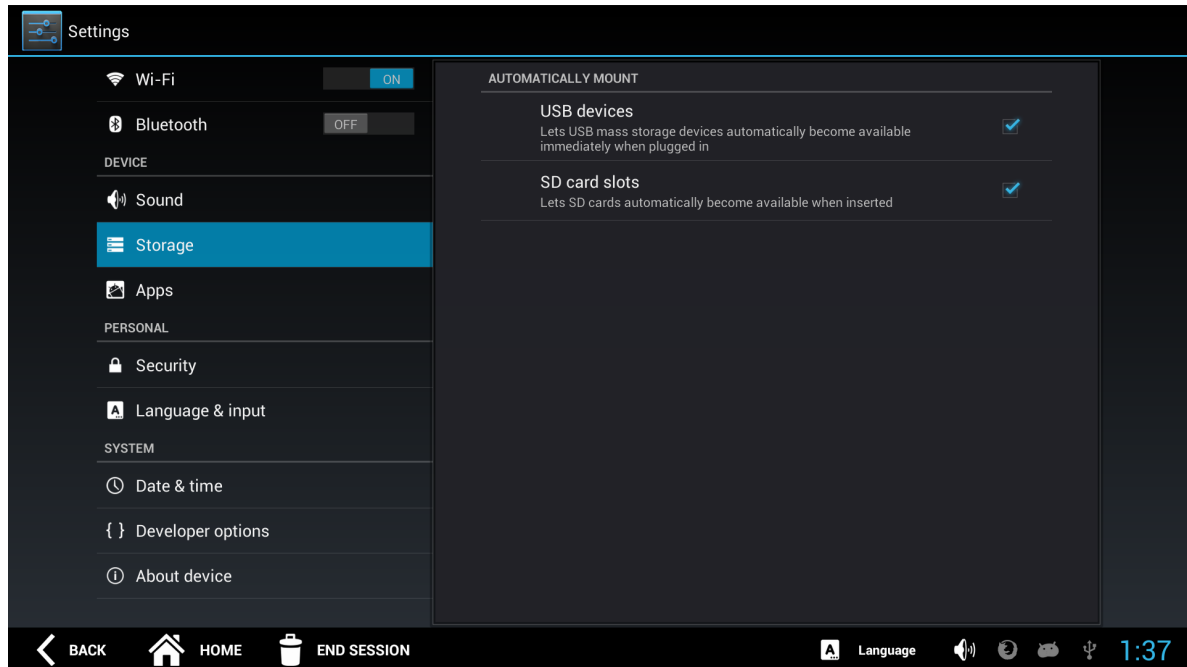


図 2-15 ストレージの取り付けオプション

3. CC5000 をメディア デバイスとして接続するには、[Storage] (ストレージ) を選択して、メニューから [USB computer connection] (USB コンピュータ接続) を選択します。ファイルを転送するには、マイクロ USB ケーブルでホスト コンピュータと CC5000 を接続し、[MTP] を選択して、CC5000 とホスト コンピュータ間で必要に応じてファイルを転送 / コピー / 削除します。



図 2-16 USB でのコンピュータ接続

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバー

CC5000 は、NTP サーバーに接続して時刻を同期するように構成できます。

NTP サーバーに接続するには、次の手順を実行します。

1. 2-7 ページの「設定」のステップ 1 ～ 3 に従います。
2. [Date & time] (日付と時刻) を選択し、[NTP サーバーの選択] を選択して、[NTP サーバーの事前設定] ウィンドウ (図 2-18) を表示します。

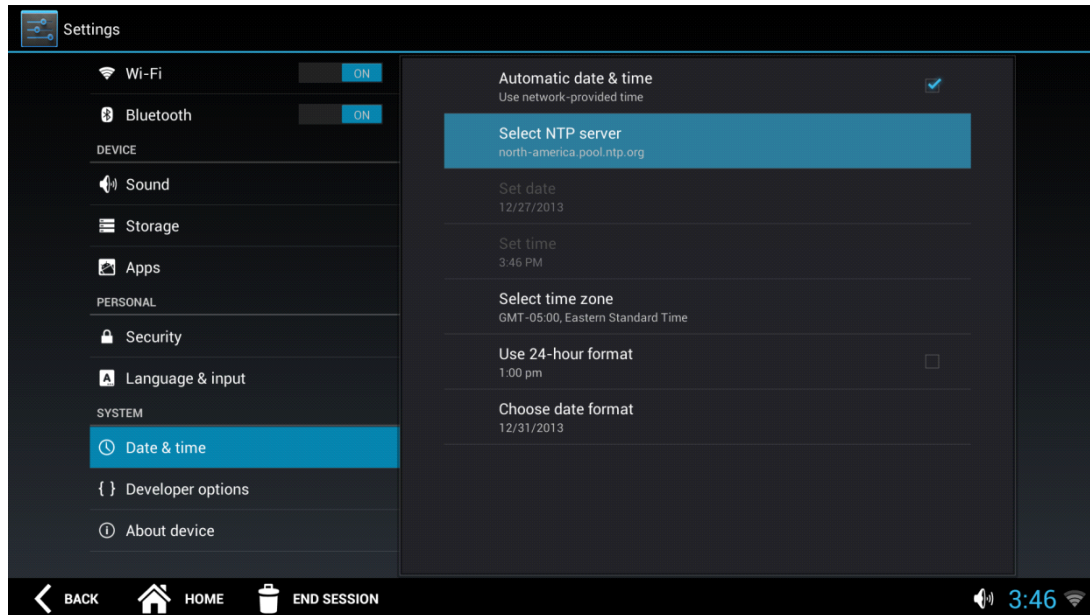


図 2-17 NTP サーバー

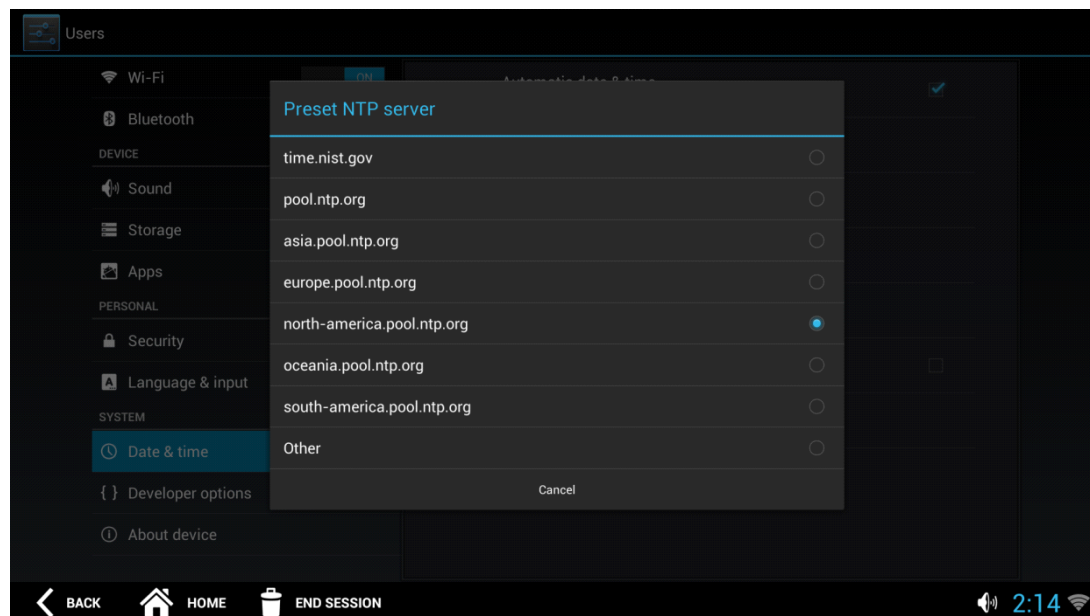


図 2-18 [NTP サーバーの事前設定] ウィンドウ

3. NTP サーバーを表示される事前構成されたリストから選択します。
4. セッションを終了しないでウィンドウを終了するには、[戻る] を押します。


5. [セッション終了] を押して **Admin** モードを終了します。
6. プロンプトが表示されたら、画面を終了することを確認します。

言語設定

ゲスト モード

ゲスト モードのユーザーは、既定の言語として構成されている言語とは異なる言語を選択できます。これは、アプリケーションが複数の言語の表示文字列およびプロンプトをサポートしている場合に該当します。ゲスト セッションが終了すると、言語設定は既定の設定に戻ります。

言語を選択するには、次の手順に従います。

1. ゲスト モードで、画面の右下にある  **Language** を選択します。

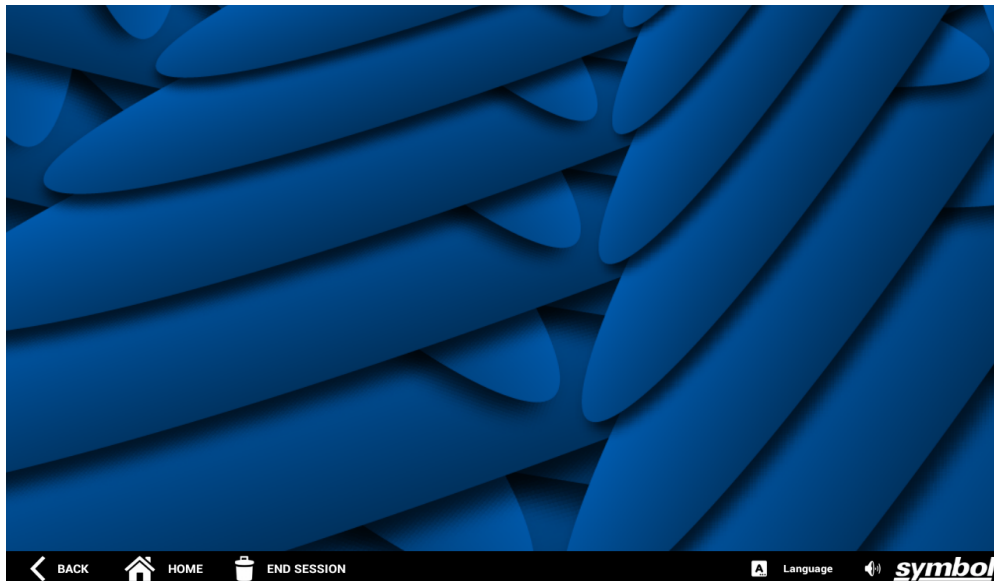


図 2-19 ゲスト モードの画面

2. 表示されている言語のリストから選択します。

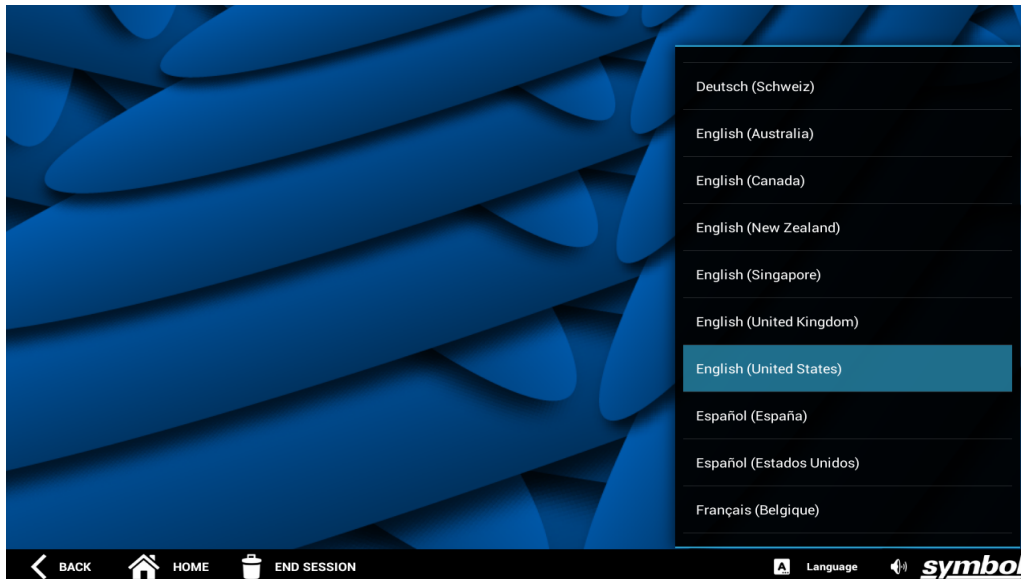


図 2-20 ゲスト モードの言語



注 1つの言語のみが有効になっている場合、言語セレクトは表示されません。

Admin モード

既定の言語は、選択されたゲスト言語に関係なく各ユーザー セッションが完了した後に CC5000 がこの言語に戻るように設定できます。

既定の言語を設定するには、次の手順に従います。

- 2-7 ページの「設定」のステップ 1 ~ 3 に従います。
- [Language & input] (言語と入力) を選択し、[既定の言語] を選択します。

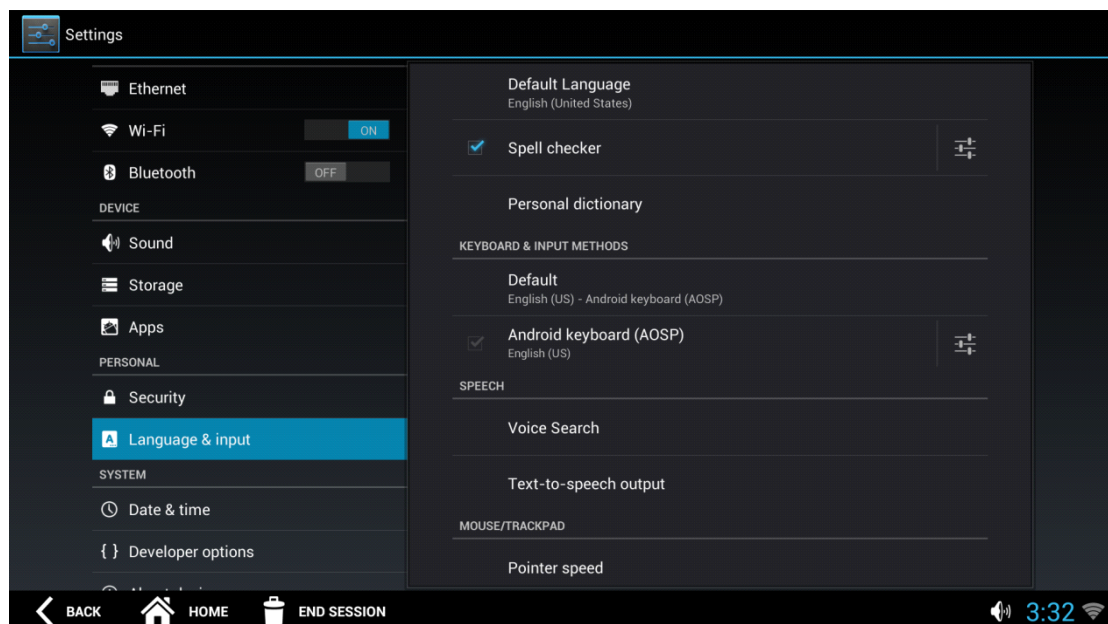


図 2-21 既定の言語

3. 既定の言語を指定します。
4. 更新が完了したら、[セッション終了] を押して **Admin** モードを終了します。
5. プロンプトが表示されたら、画面を終了することを確認します。

ファイル ブラウザ

Adminモードでは、**ファイル ブラウザ**を使用して、CC5000 上または SD カード上にあるファイルを表示および管理できます。

ファイル ブラウザを開くには、次の手順に従います。



1. **2-4 ページの「Admin モード」**の手順に従って、**Admin** モードに入ります。
2. [ファイル ブラウザ] アイコンが表示されない場合は、**Admin** ホーム画面の右上にある  を押して、利用できるすべてのアプリケーションを表示します。
3. [ファイル ブラウザ] アイコン () を押して、デバイスにあるフォルダ/ファイルを表示します。



図 2-22 ファイル ブラウザ ビュー

4. 操作を行うには、この画面上のアイコンをタッチしてその状態を維持します。たとえば、フォルダを開くには、フォルダ アイコンをタッチします。フォルダ以外のアイコンで利用できるオプションを表示するには、アイコンをタッチして、そのオプション画面が表示されるまで、その状態を維持します。この画面で利用できるオプションには、次のものがあります。
 - a. ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示する。
 - b. ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動する。
 - c. 選択したファイルをコピーする。
 - d. 選択したファイルを削除する。

- e. 選択したファイルの名前を変更する。
 - f. 選択したファイルを特定のタイプのファイルとして開く。
- メニューには、複数のファイル/フォルダの選択など、追加の機能があります。

システム更新



システム管理者が管理できるリモートのソフトウェア更新に加えて、CC5000 では、USB フラッシュ ドライブまたは SD カードを使用した手動のソフトウェア更新が可能です。これは、初期ステージング中および展開中、または、少数のデバイスに対して更新が必要なときに便利である場合があります。

- ✓ **注** CC5000 用の更新ファイルを作成するための手順やツールについては、<https://developer.zebra.com/community/technologies/concierge> をご覧ください。CC5000 用の更新ファイルのファイル拡張子は、.mdz です。

必ず、USB ドライブまたは SD カードを適切な外部ポート (デバイスの外部ポートの場所については、[1-3 ページの図 1-3](#) および [1-4 ページの図 1-4](#) を参照) に挿入するようにしてください。

- ✓ **注** USB ドライブまたは SD カードのルート フォルダに更新ファイル (.mdz 形式) が 1 つだけあることを確認してください。複数の .mdz ファイルがある場合は、名前を変更するか、別の場所に移動する必要があります。

手動のソフトウェア更新を完了するには、次の手順に従います。

1. [2-4 ページの「Admin モード」](#) の手順に従って、**Admin** モードに入ります。
2. **[設定]** アイコンが表示されない場合は、**Admin** ホーム画面の右上にある  を押して、利用できるすべてのアプリケーションを表示します。
3. **[設定]** アイコン () を押して、**[設定]** アプリケーション画面を開きます。

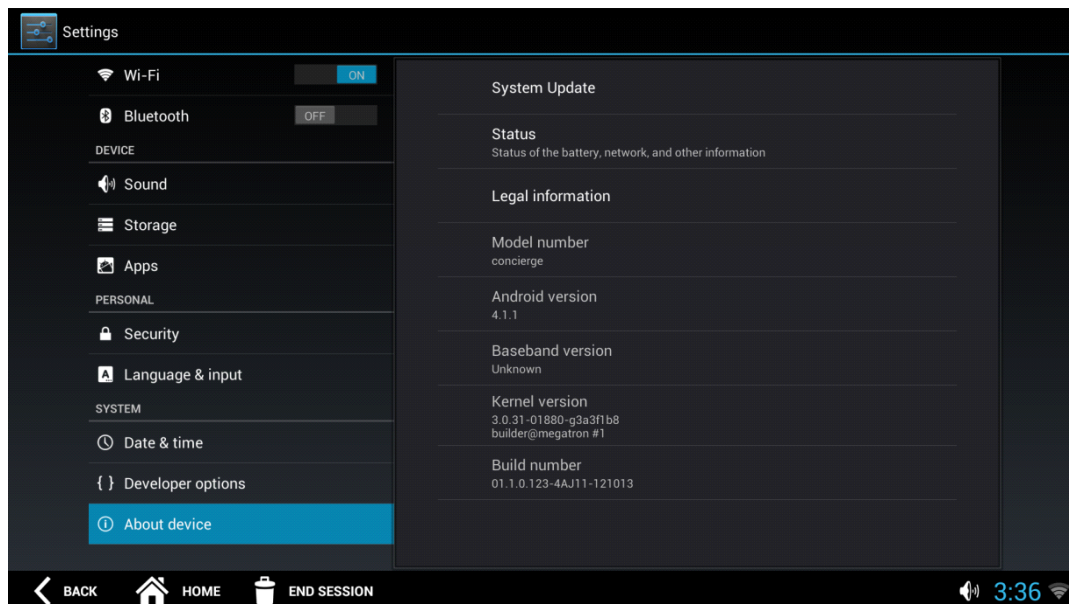


図 2-23 **[設定]** アプリケーション画面

4. 画面の左側の **[SYSTEM]** (システム) セクションで、**[About device]** (デバイス情報) を押して、右側に **[システム更新]** ペインを表示します。

✓ **注** [Build number] (ビルド番号) 属性は、現在 CC5000 にインストールされているプラットフォームのソフトウェアバージョン番号を参照します。

5. **[システム更新]** を押します。

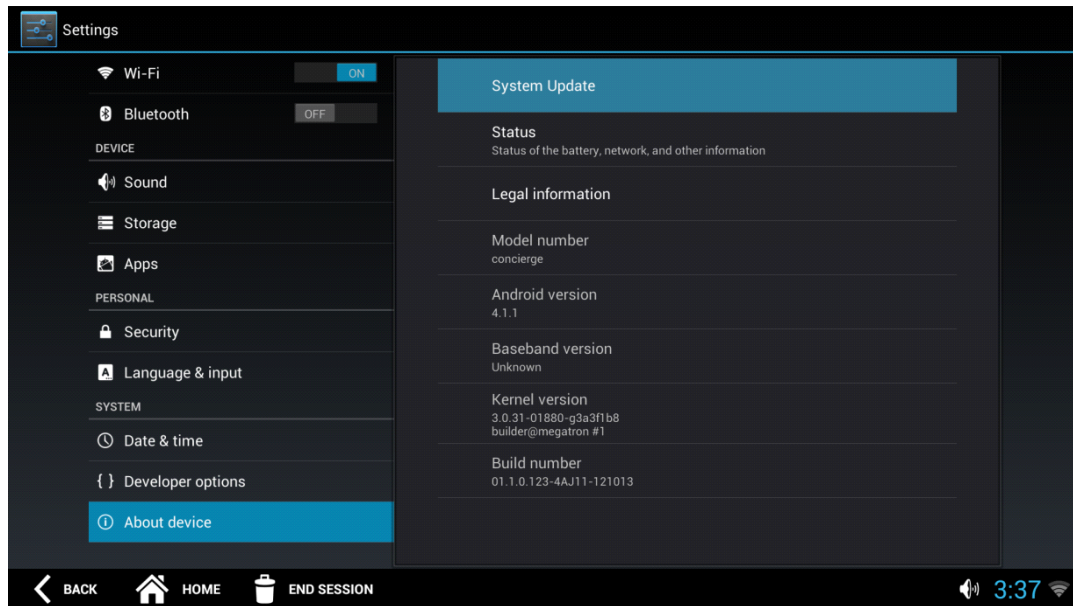


図 2-24 [設定] アプリケーション画面 - システム更新

6. 更新されたファイル (.mdz 形式) を含む USB フラッシュ ドライブまたは SD カードを適切なポートに挿入します。

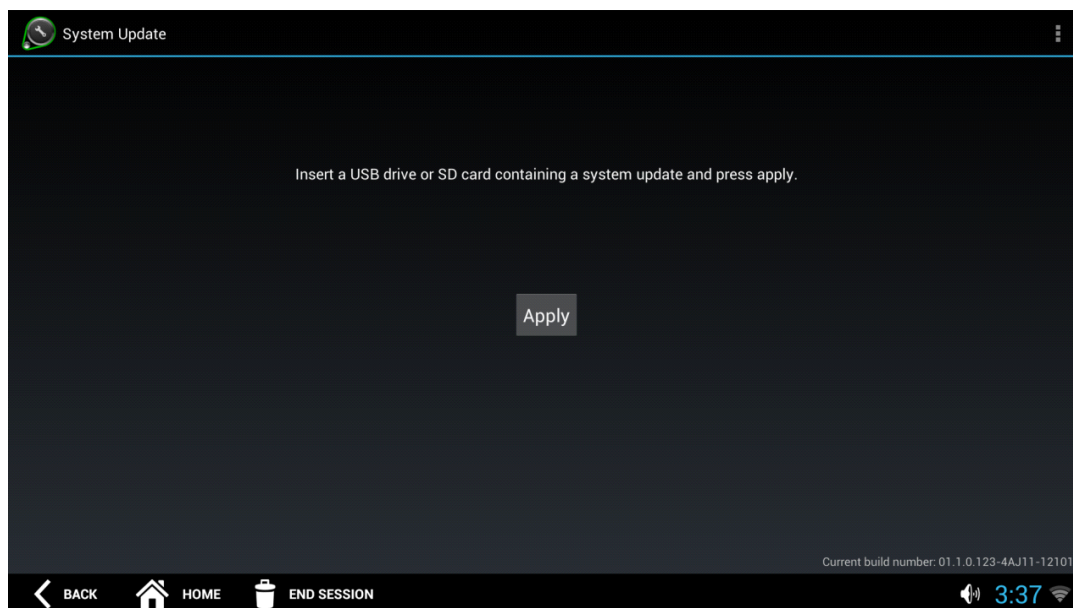


図 2-25 [設定] アプリケーション画面 - システム更新

7. **[適用]** を押し、更新が完了するまで待ちます。CC5000 は、更新プロセスの一部として数回リセットする場合があります。

エンタープライズリセット



必要に応じて、CC5000 はデフォルトの工場出荷時のソフトウェア バージョンと設定にリセットできます。



重要

エンタープライズ リセットを実行すると、/cache パーティションと /data パーティションにあるすべてのデータが消去され、/enterprise パーティション以外のすべての CC5000 の設定がクリアされます。このオプションは絶対に必要な場合にのみ使用してください。

デバイスのエンタープライズ リセットを実行するには、次の手順に従います。

1. [2-4 ページの「Admin モード」](#)の手順に従って、**Admin モード**に入ります。
2. **[設定]** アイコンが表示されない場合は、**Admin ホーム**画面の右上にある  を押して、利用できるすべてのアプリケーションを表示します。
3. **[設定]** アイコン () を押して、**[設定]** アプリケーション画面を開きます。

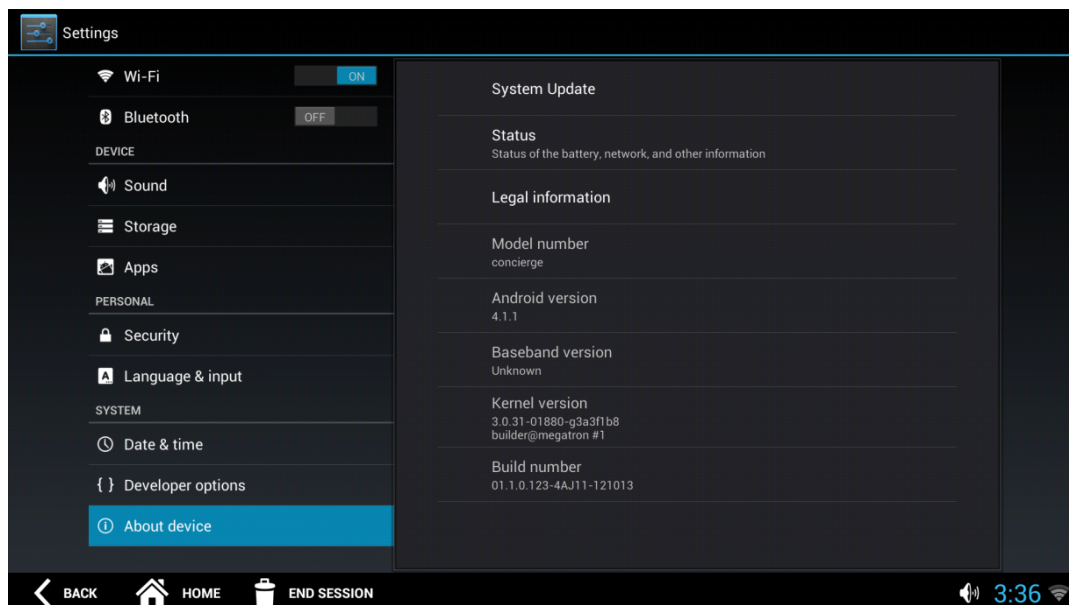


図 2-26 **[設定]** アプリケーション画面

4. 画面の左側の **[SYSTEM]** (システム) セクションで、**[About device]** (デバイス情報) を押して、右側に **[システム更新]** ペインを表示します。

5. [システム更新] を押します。

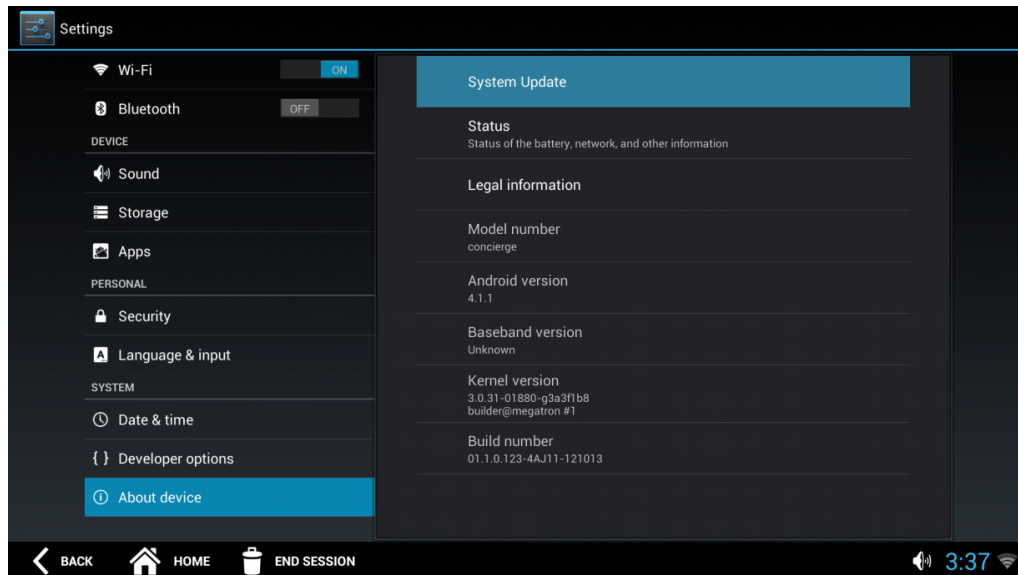


図 2-27 [設定] アプリケーション画面 - システム更新

6. 画面の右上隅の [メニュー] アイコン () を押し、[出荷時へのリセット] を選択します。

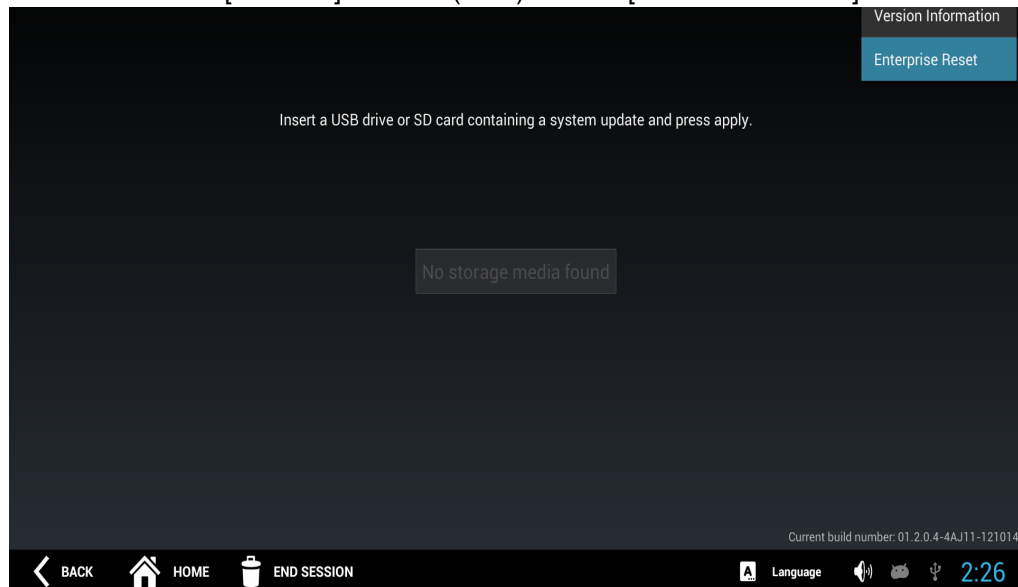


図 2-28 [設定] アプリケーション画面 - エンタープライズ リセット

7. エンタープライズ リセットの確認ウィンドウが表示されたら、[OK] を押して、すべてのデータをリセットすることを確認します。

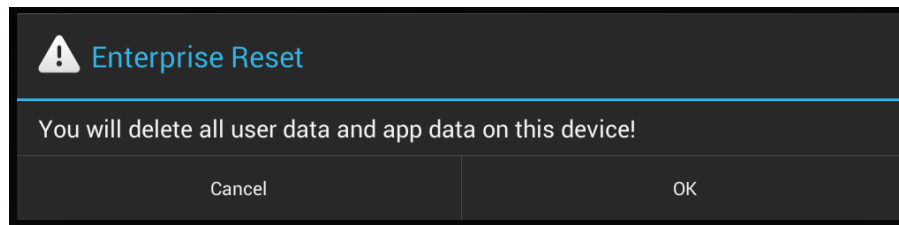


図 2-29 [設定] アプリケーション画面 - エンタープライズ リセットの確認

8. デバイスがリセット モードになります。

データの読み取り

CC5000 では、以下の方法でデータを読み取ることができます。

- 内蔵の 2D イメージ スキャナを使用して、バー コード データを読み取ります。
- イメージのキャプチャ
- 8MP HD カメラを使用して、ビデオを録画します。

✓ **注** DataWedge は、CC5000 プラットフォーム ソフトウェア バージョン 1.2.0.4 では有効です。

DataWedge は、コードを記述しなくてもアプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加できるユーティリティです。バックグラウンドで動作し、内蔵式と取り付け式の両方のバーコード スキャナのインタフェースとなります。読み取られたバーコード データはキーストロークに変換され、キーパッドで入力した場合と同じように目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge の使用方法については、<https://developer.zebra.com/docs/DOC-1928> を参照してください。

CC5000 プラットフォームでのスキャン データのカスタム処理を無効にする方法、およびスキャン データをキーストロークとしてアプリケーションに転送する方法については、<https://developer.zebra.com/community/technologies/concierge> をご覧ください。



注意 CC5000 スキャナは工場ではプログラミングされています。『DS457 Imager Integration Guide』にある **Set Defaults** バーコードをスキャンしないでください。これを行うと、CC5000 スキャナが使用不能になり、Zebra サポートに電話しなければ解決できなくなります。

CC5000 は、スキャン時に赤色の照準ドットを投影します。この赤色の照準ドットにより、ユーザーはデバイスの読み取り範囲内にバーコードを収めることができます。読み取り範囲内にバーコードが収まっていること、および照準ドットがバーコードの中央にあることを確認します。

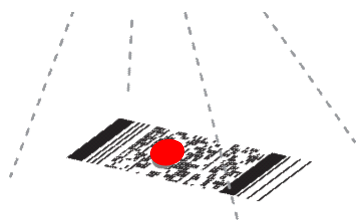


図 2-30 照準

照準ドットは、シンボルが CC5000 に近いほど小さくなり、遠いほど大きくなります。

無線構成

CC5000 上でスキャンしたり、さまざまなアプリケーションにアクセスしたりするには、無線ネットワークが必要です。

Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi ネットワークに接続するには、次の手順に従います。

1. **2-4 ページの「Admin モード」の ステップ 1 - ステップ 4** に従って、**Admin** モードにします。
2. **[設定]** 画面の左側で、**[WIRELESS & NETWORKS]** (無線とネットワーク) セクションまで下へスクロールし、Wi-Fi がオンに設定されていることを確認します。

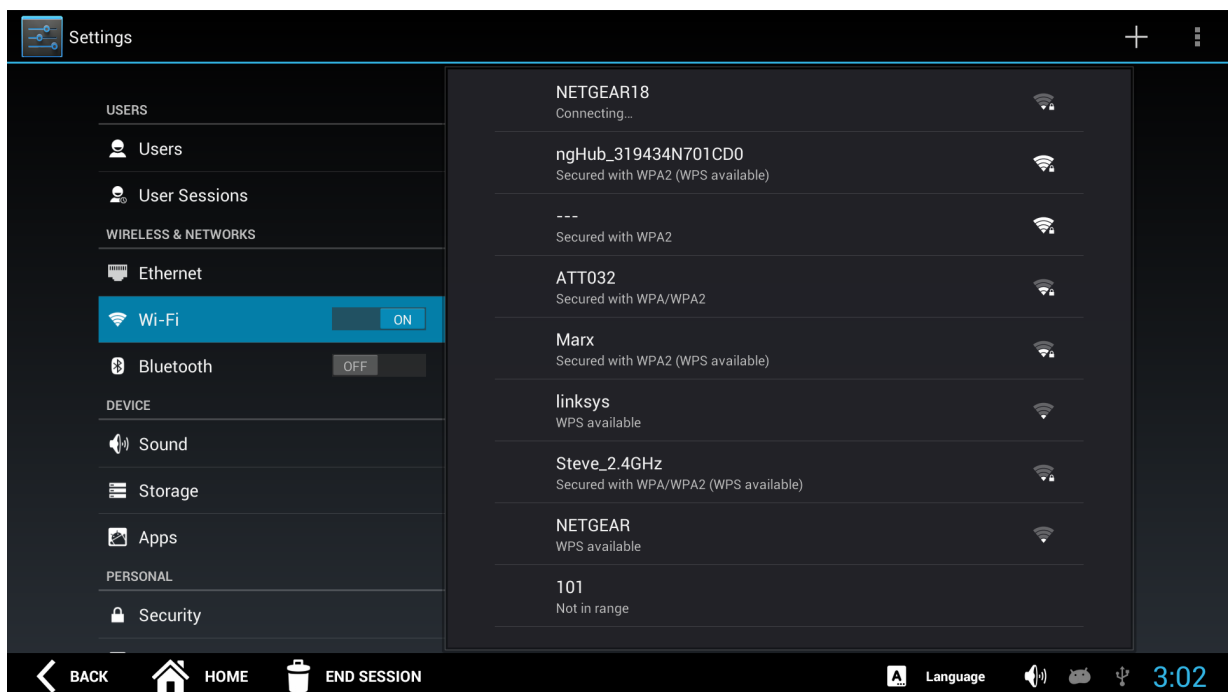




図 2-31 設定画面

3. 画面の右側で、利用できる Wi-Fi ネットワークのリストからネットワークを選択します。
4. Wi-Fi ネットワークに正常に接続したら、**[セッション終了]** を押して **Admin** モードを終了します。

✓ **注** プラットフォーム ソフトウェア バージョン 1.2.0.4 以上の CC5000 では、**Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite** はサポートされていません。

Fusion を設定するには、画面右上隅にあるメニュー アイコン () を押します。オプションのリストから **[Advanced]** (詳細設定) を選択します。

Wi-Fi ネットワークのスキヤニング

お使いの Wi-Fi ネットワークが表示されていない場合は、ネットワークをスキャンするために、画面の右上隅の [メニュー] アイコン () を押します。オプションのリストから、[Scan] (スキャン) を選択します。

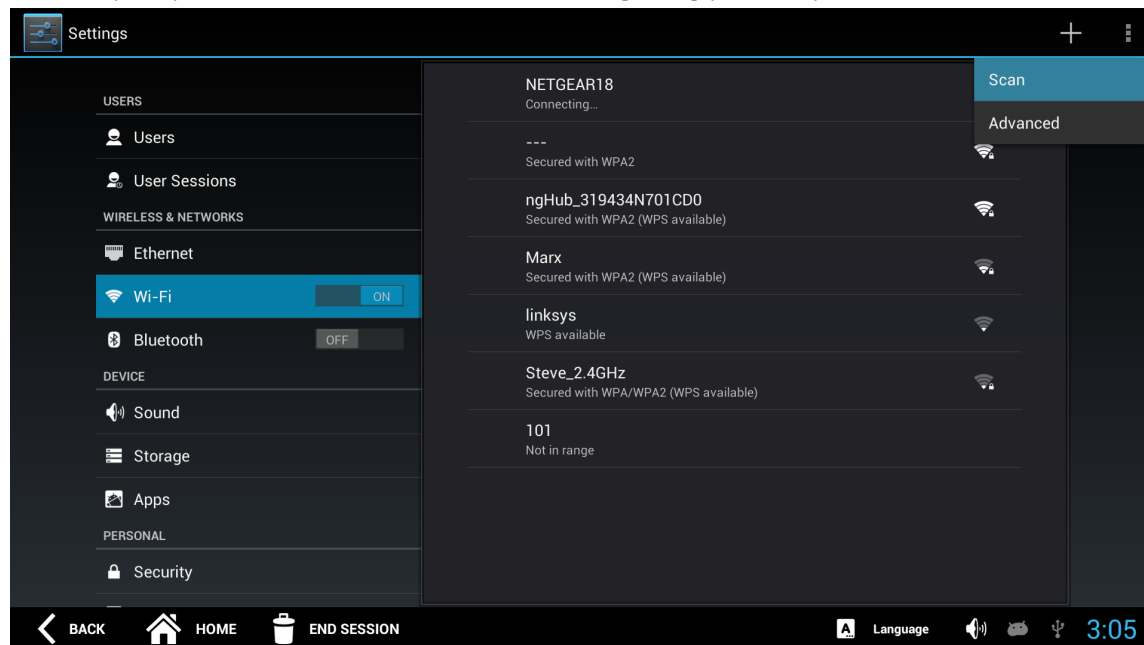


図 2-32 ネットワークをスキャンするメニュー

Wi-Fi ネットワークの追加

ネットワークを手動で追加するには、次の手順に従います。

1. **[設定]** 画面の右上にある **+** をタッチして、**[Add network]** (ネットワークを追加) ウィンドウを表示します。

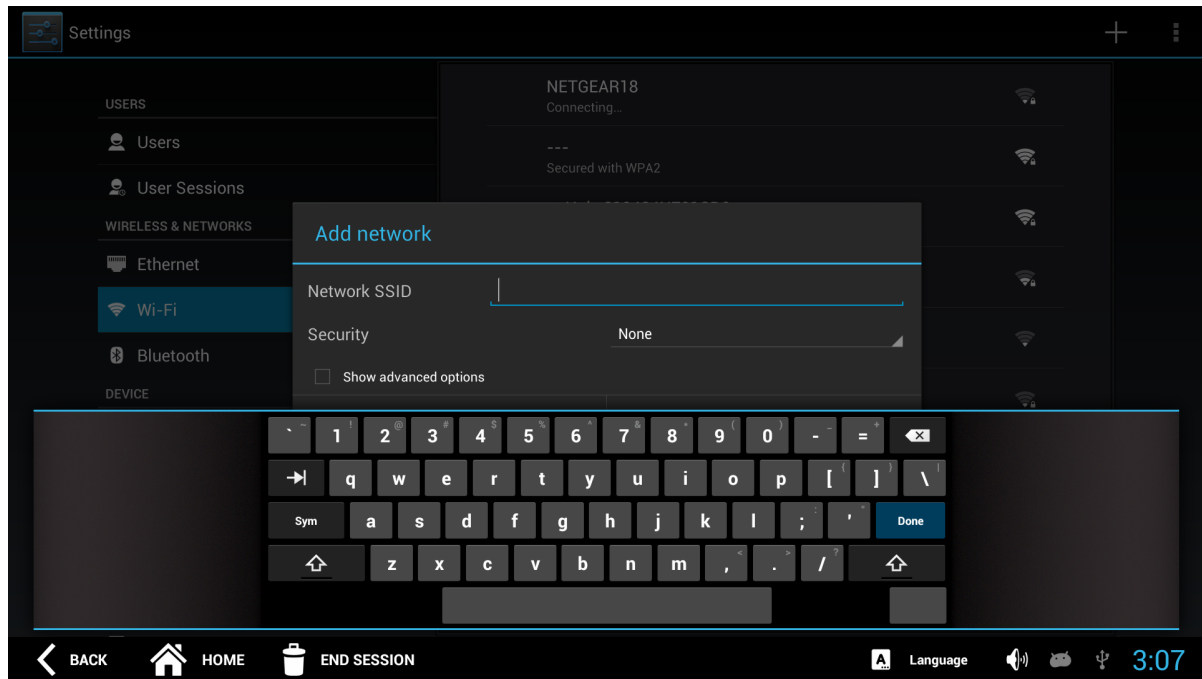


図 2-33 **[Add network]** (ネットワークを追加) ウィンドウ

2. **[Add network]** (ネットワークを追加) ウィンドウに適切なネットワーク情報を入力して構成し、ネットワークにアクセスします。
3. **[セッション終了]** を押して終了します。

付録 A メンテナンスとトラブルシューティング

概要

この付録では、CC5000 のクリーニング、メンテナンス、およびトラブルシューティングについて説明します。

クリーニングとメンテナンス

- クリーニングの前に必ず、製品の電源を切ってください。
- タッチスクリーンの表面は、水で薄めた市販の窓ガラス用洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れを拭き取ってください。
- ディスプレイ筐体は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れを拭き取ります。
- ディスプレイの画面には、先の尖った硬いもので触れないでください。
- クリーニングには、研磨洗浄剤やワックス、溶剤を使用しないでください。
- 次のような条件の下で、本製品を稼働させないでください。
- 極端な高温、低温、または高湿度の環境。
- 強力な磁場を生成する機器の近辺。
- 直射日光の当たる場所。

トラブルシューティング

表 A-1 考えられる問題と解決方法

問題	ソリューション
ディスプレイに画像が表示されません。	CC5000 が電源コンセントに接続されているかどうかを確認します。接続されていない場合は、装置を電源に接続します。
ディスプレイに画像が表示されません (CC5000 は電源に接続されています)。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
タッチスクリーンが機能しません。	ディスプレイの近くに障害物がないかどうかを確認します。障害物がある場合は、取り除いて、CC5000 を再起動します。
タッチスクリーンが機能しません (ディスプレイの近くに障害物はありません)。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
バー コード スキャナの前にバー コードを配置したときにスキャナが赤色で点滅しません。	CC5000 の周囲を明るくして、再実行します。スキャンがうまくいくまで、このサイクルを継続します。
(照明が適切な環境でも) バー コード スキャナの前にバー コードを置いたときにスキャナが赤色で点滅しません。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
バー コード スキャナは赤色で点滅しますが、 [Scan Received] (スキャンが受信されました) というメッセージが CC5000 に表示されません。	スキャンしているバー コード タイプを処理するためにバー コード スキャナの構成が必要である場合があります。バー コード スキャナをプログラミングするには、『PL3307 Decoder Integration Guide』(p/n 72E-149624-xx) を参照してください。 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。
音がしないか、音量が低くなっています。	ソフトウェアの音量を最大レベルにします。
ソフトウェアの設定が正しくありません。	CC5000 の構成を担当しているデバイス管理者に問題を報告してください。これは、店舗のローカルの管理者である場合もあれば、リモートの従業員である場合もあります。
Wi-Fi または Ethernet 接続が機能していません。	CC5000 の近くに障害物があれば、取り除いて、1 分後にもう一度テストします。
Wi-Fi または Ethernet 接続が機能していません (CC5000 の近くに障害物はありません)。	ローカルの管理者がいる場合は問題を報告してください。管理者が、デバイスが正しく構成されていることを確認できるはずです。問題が解決しない場合は、IT 管理者に問い合わせてください。
MDM サーバーでデバイスがオンラインになっていません。	Wi-Fi または Ethernet が接続されていることを確認します。
MDM サーバーでデバイスがオンラインになっていません (Wi-Fi または Ethernet は接続されています)。	デバイスが正しい日付と時刻に設定されていることを確認します。

表 A-1 考えられる問題と解決方法(続き)

問題	ソリューション
CC5000 に [Application Not Responding] (アプリケーションが応答していません) というメッセージが表示されます。	これは、問題が発生しているとは限りません。 [Wait] (待機) をクリックし、デバイスが問題なく機能し続けるかどうかを確認します。
CC5000 に [Application Not Responding] (アプリケーションが応答していません) というメッセージが表示されます (メッセージが繰り返し表示されます)。	デバイスをリブートします。問題が解決しない場合は、問題をサポートにご報告ください。
CC5000 がブートしません (またはリブートし続けます)。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
CC5000 が、許容できない音量に既定で設定されています。	デバイス管理者に、[設定] > [Sound] (サウンド) > [Default Volume] (既定の音量) で既定の音量を設定してもらいます。
CC5000 が、許容できない言語に既定で設定されています。	デバイス管理者に、[設定] > [言語] > [既定の言語] で既定の言語を設定してもらいます。
上記以外の問題が発生しました。	デバイスをリブートします。問題が解決しない場合は、問題をサポートにご報告ください。

索引

A

Admin モード	2-6
アプリ	2-5
概要	2-4
構成ボタン	2-6
セッション終了	2-6
ファイル ブラウザ	2-17
ボタン	2-4
ホーム画面	2-5
Admin モードに入るボタン	2-5

B

Bluetooth の設定	2-18
---------------	------

E

Ethernet	2-6
接続	1-6
ポート	1-6
Ethernet ポート	1-3

H

hdmi	1-6
------	-----

M

MDM	2-6
mdz ファイル	2-18, 2-19

R

RS-232	1-6
--------	-----

S

SDK	1-1
SD カード	1-6, 2-17, 2-18, 2-19
SD カード フォルダ、ファイル ブラウザ	2-17

W

Wi-Fi	2-23, 2-25
構成	2-6
接続	2-23
設定	2-18
ネットワーク検索	2-24

Z

機能

Ethernet ポート	1-6
SD カード	1-6
外部ポート	1-6
取り付け穴	1-7
正面図	1-4
電源コンセント	1-7
動作確認 LED	1-5
オーディオ マイク	1-6
オーディオ入力 / 出力	1-6
スピーカ	1-7
タッチ スクリーン	1-7
バー スキャナ ウィンドウ	1-6
ビデオ カメラ	1-7
ボタン	1-6

あ

アプリ設定	2-18
アプリを表示するボタン	2-5, 2-7, 2-17, 2-18, 2-20

い

インターネット / イン트라ネット ブラウザ 2-3

お

オーディオ出力 1-6
 オーディオ入力 1-6
 オーディオ マイク 1-6
 音量ボタン 2-1

か

ガイドでの斜体の使い方 viii
 ガイドでの中黒の使い方 viii
 ガイドでのフォントの使い方 viii
 ガイドでの太字の使い方 viii
 開発者
 オプション設定 2-18
 情報 1-1, 2-18, 2-19, 2-22
 外部ポート 1-6
 画像読み取り 2-22
 画面
 Admin 2-4
 Admin 設定 2-6
 Admin ホーム 2-5
 画面キーボード 2-3
 セッション終了 2-6
 設定 2-18
 ホーム 2-2
 ホーム / パス コード キーパッド 2-4

き

規則
 表記 viii
 既定値 2-20
 機能
 正面図 1-2
 側面図 1-4
 背面図 1-3
 キーパッド、パス コード 2-4
 キーボード 2-3

け

ゲスト モード 2-4
 言語設定 2-18

さ

サウンド設定 2-18
 サービス情報 ix
 サンプル コード 1-1

し

システム更新 2-18
 出荷時へのリセット 2-20
 情報、サービス ix
 シリアル ポート 1-6

す

スキャニング
 バー コード スキャニング 2-22
 スキャン
 バー コード スキャナ ウィンドウ 1-6
 バー コード スキャン 1-6
 ストレージ 2-12
 ストレージ設定 2-18
 ストレージ、内部メモリ 1-1
 スピーカ 1-7

せ

セキュリティ設定 2-18
 セッション終了
 ウィンドウ 2-6
 ボタン 2-1
 設定 2-7
 MDM 2-6
 モバイル デバイス管理 2-6
 設定、Admin 2-6
 設定画面 2-12
 Bluetooth 2-18
 Wi-Fi 2-18
 アプリ 2-18
 開発者向けオプション 2-18
 言語 2-18
 サウンド 2-18
 ストレージ 2-18
 セキュリティ 2-18
 デバイス情報 2-18
 日付と時刻 2-18

そ

ソフトウェア 1-1

た

タッチ スクリーン 1-7

て

デバイス情報 2-18
 デバイスのルート ボタン、Admin モード 2-17

電源コンセント 1-7

と

取り付け穴 1-7

は

パスコード キーパッド 2-4

ひ

日付と時刻の設定 2-18

ビデオ 1-1, 1-2, 1-7, 2-22

表記規則 viii

ふ

ファイル更新 2-18, 2-19

ファイル ブラウザ 2-17

複数選択ボタン、Admin モード 2-17

ブラウザ

 インターネット/イントラネット 2-3

 ファイル 2-17

フラッシュ ドライブ 2-18, 2-19

ほ

ボタン

 Admin モード 2-4

 Admin モードに入る 2-5

 SD カード フォルダ、Admin モード 2-17

 アプリを表示する 2-5, 2-7, 2-17, 2-18, 2-20

 音量 2-1

 セッション終了 2-1

 設定アイコン 2-6

 デバイスのルート、Admin モード 2-17

 複数選択、Admin モード 2-17

 ホーム 2-1

ホーム画面

 機能 2-2

ホーム ボタン 2-1

め

メモリ 1-1

も

モード

 Admin 2-4, 2-5, 2-6, 2-17

 ゲスト 2-4

モバイル デバイス管理 2-6

り

リセット 2-20



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。
© 2015 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved.

